

平成31年度（令和元年度）  
事業報告書



社会福祉法人 うきは市社会福祉協議会

# 目次

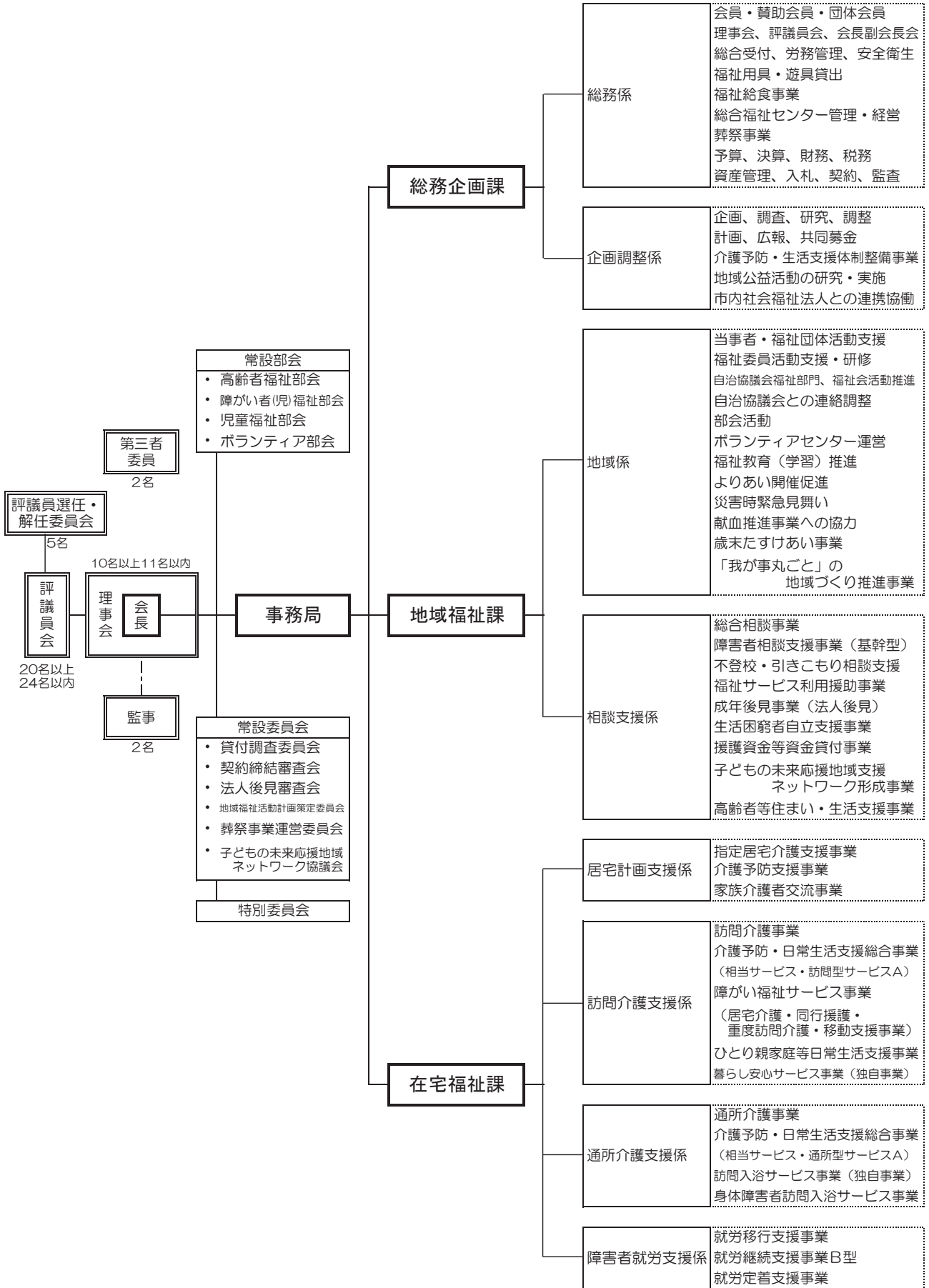
## 平成31年度（令和元年度）事業報告書

□うきは市社会福祉協議会組織図	1
□うきは市社会福祉協議会組織構成、役員名簿、評議員選任・解任委員会委員名簿	2
評議員選出区分一覧、第三者委員名簿、常設委員会委員長名簿、部会長名簿	3
□うきは市社会福祉協議会運営理念、基本目標、平成31年度（令和元年度）事業報告概要	4
I 総務企画部門	
《総務係》	5
1. 法人運営	5
2. 各部門の総合調整、活動支援	8
3. 福祉給食	8
4. 管理・経営（指定管理）	9
5. 福祉用具の無料貸出	10
6. 公益事業（葬祭事業）	10
7. 九州豪雨災害支援	11
《企画調整係》	11
1. 調査・企画・広報事業	11
2. 介護予防・生活支援体制整備事業	12
3. 地域公益活動についての研究・実施	16
4. 市内の社会福祉法人との連絡調整・協働	16
II 地域福祉活動部門	
《地域係》	21
1. 部会・研究事業	21
2. 連絡調整事業	21
3. ふれあいのまちづくり推進事業	22
4. 共同募金配分金事業	28
5. 我が事丸ごとの地域づくり推進事業	32
6. たすけあい献血事業	34
7. 移送サービス支援事業	34
《相談支援係》	35
1. 生活困窮者自立支援事業	35
2. 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）	37
3. 成年後見事業	38
4. うきは市障害者相談支援センター	39
5. 不登校・ひきこもり対策相談支援事業	41
6. 子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業	42
7. 高齢者等住まい・生活支援事業	43
8. 資金貸付事業	44
III 在宅福祉サービス事業部門	
1. 居宅計画支援係（うきは市ケアプランサービスセンター）	46
2. 訪問介護支援係（うきは市ヘルパーステーション）	46
3. 通所介護支援係（うきは市デイサービスセンター）	47
4. 障害者就労支援係（ワークサポート白鳥の家）	48
5. 制度補足サービス	51
6. 家族介護者交流事業	51
7. 連携・協働事業	52

IV その他	
1. 実習・見学受入状況等	53
2. 講演、事例報告への職員派遣	54
3. 書籍等への掲載	55
V 平成31年度（令和元年度）寄付概要	
1. 香典返し寄付	56
2. 一般寄付	56
3. 物品寄付	56
□ 平成31年度（令和元年度）事業報告付属明細書	57

# うきは市社会福祉協議会組織図

平成31年4月1日



## うきは市社会福祉協議会組織構成

議決機関	評議員会	20名以上24名以内
執行機関	理事会	10名以上11名以内
監査機関	監事	2名
常設委員会	評議員選任・解任委員会	5名
	地域福祉活動計画策定委員会	22名
	子どもの未来応援地域ネットワーク協議会	9名
	契約締結審査会	7名
	法人後見審査会	5名
	貸付調査委員会	9名
	葬祭事業運営委員会	10名
部 会	高齢者福祉部会	12名
	障がい者（児）福祉部会	11名
	児童福祉部会	13名
	ボランティア部会	12名

### 役員名簿（令和2年3月31日現在）

（敬称略）

役 職	氏 名（選出区分）	
理事（会長）	石 井 忠 孝	（識見を有する者）
〃（副会長）	河 北 和 彦	（識見を有する者）
〃（副会長）	高 山 敏 枝	（識見を有する者）
〃	岩 崎 道 代	（識見を有する者）
〃	東 多喜子	（識見を有する者）
〃	熊 谷 幸 一	（自治協議会）
〃	堤 壽 夫	（自治協議会）
〃	永 井 ケイ子	（民生委員児童委員協議会）
〃	足 立 光 二	（保健・医療関係者）
〃	西 見 峰 子	（社会福祉法人の役職員）
〃	平 田 真 弓	（ボランティア連絡協議会）
監 事	三 浦 隆 文	（財務管理に識見を有する者）
〃	高 木 新一郎	（社会福祉事業に識見を有する者）

### 評議員選任・解任委員会 委員名簿（令和2年3月31日現在）

（敬称略）

構 成	氏 名
外部委員	石 井 又エ子
外部委員	樋 口 幸 代
外部委員	白 石 正 男
監 事	三 浦 隆 文
事務局員	田 村 吉 彦

### 評議員選出区分一覧

区 分	区分の内訳	定 数
住民組織	自治協議会	4名以内
当事者の団体及び 組織	老人クラブ	1名
	障がい者福祉協会	1名
	精神障がい者家族会	1名
	母子寡婦福祉会	1名
	子育て・育児団体	1名
	在宅介護者の会	1名
社会福祉に関する活動 を行う団体及び組織	福祉委員	2名以内
	ボランティア連絡協議会	1名
	農業協同組合	1名
	人権擁護委員会	1名
民生委員・児童委員 またはその組織	民生委員児童委員協議会	1名
社会福祉事業者関係	社会福祉施設（社会福祉法人）	1名
	介護サービス事業連絡会	1名
保健・医療・教育等の 関係機関・団体	小中学校長会	1名
	P T A連絡協議会	1名
	保健・医療関係機関・団体	2名以内
地域福祉推進に必要な地 域の主要な諸団体	商工会	1名
	青年会議所	1名
計		20名以上 24名以内

### 第三者委員名簿（令和2年3月31日現在）（敬称略）

選 出 区 分	氏 名
学識経験者	水 城 秀 記
学識経験者	熊 懐 勝 子

### 常設委員会委員長名簿（令和2年3月31日現在）（敬称略）

委員会名	委員長名
地域福祉活動計画策定委員会	石 井 靖 治
子どもの未来応援地域ネットワーク協議会	安 元 ひろみ
契約締結審査会	國 武 雅 子
法人後見審査会	國 武 雅 子
貸付調査委員会	江 藤 武 夫
葬祭事業運営委員会	伊 藤 正 勝

### 部会長名簿（令和2年3月31日現在）（敬称略）

部 会 名	部会長名
高齢者福祉部会	佐 藤 春 義
障がい者（児）福祉部会	重 富 浴 夫
児童福祉部会	木 下 英 樹
ボランティア部会	舎 川 博 道

## うきは市社会福祉協議会運営理念

1. 住民の皆さまの色々な声をしっかり聴きとり一緒に考えます。
2. より多くの住民皆さまと力を合わせて福祉のまちづくりを実現します。
3. サービスの質を高め在宅福祉を充実します。
4. 行政等に対応できないことでも住民皆さまと共に取り組んでいきます。
5. 地域の皆さまに積極的に福祉情報を提供します。

### 基本目標「誰もが幸せに暮らせるまちづくり」

## 平成31年度（令和元年度）事業報告概要

本会は、平成31年度（令和元年度）活動方針として、地域共生社会実現に向けた『福祉のまちづくり』を掲げて、各部門において事業を展開してきました。

その中でも、今年度は5年に1度の社会福祉大会開催の年であり、「福祉のまちづくり」をさらに前進させる契機とするために、功労者表彰や記念講演など開催に向けて準備を行い、住民の皆さんへも3月20日るり色ふるさと館での開催をお知らせし、参加を呼び掛けていましたが、2月以降の新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、集会等の自粛要請を受け、やむなく開催を延期することとなりました。

あわせて、社協として推進している地域包括ケアシステム構築に向けた『介護予防・生活支援体制整備事業』や、地域共生社会づくりに向けた『我が事丸ごとの地域づくり推進事業』についても、『協議の場』や『協議の場に向けた勉強会』をはじめ、各種研修会、よりあい活動など多くの活動を中止しなければならない事態となり、これまで進めてきた事業が一時的に停滞する残念な状況となりました。

年間を通した各部門における新たな事業展開としては、総務・企画部門においては、地域福祉部門と協働し、市の受託事業である介護予防・生活支援体制整備事業について、各地区の協議の場及び協議の場に向けた勉強会の開催を推進するため、市及び自治協議会、第2層の支え合い推進員と協力し、各地区での活動の推進をはかってきました。あわせて、社会資源開発の一環として、地域住民による生活支援活動である『おいしい絆クラブ』をはじめ『14区おたすけ隊』や『江南一九の会』などの活動支援を行いました。公益事業である葬祭事業においては、故人の遺志に寄り添った福祉葬儀への取り組みとして、エンディングノートの作成を検討しました。

地域福祉部門においては、新たな共同募金配分金事業として、子どもを地域で支え・育てる意識の醸成及び赤い羽根共同募金の周知・協力推進を目的に「赤ちゃんが乗っています」ステッカーの配布を始めました。

在宅福祉部門においては、長年の懸案であったワークサポート白鳥の家作業棟（旧労働会館）の改築を、福岡県社会福祉施設等施設整備費補助金を受け行うことが出来ました。これにより作業効率、訓練内容の充実をはかることが出来ました。

介護保険事業及び障害福祉サービス事業においては、利用者の減少に伴い当初の計画より収入が減少する結果となり、福祉人材不足と合わせて、今後の事業展開について、中長期的な視点に立った新たな取り組みが必要であると考えています。

# I 総務企画部門

## 《総務係・経理係》

### 1. 法人運営

#### (1) 住民主体による経営と実践

①理事会【全9回】次の日程・内容にて、理事会を開催しました。

回数	期日	出席理事/監事	議案
第140回	H31.4.22	10/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年度資金運用計画について</li> <li>ワークサポート白鳥の家作業棟（旧労働会館）の改築について</li> <li>諸規程の改正について</li> <li>嘱託職員の募集について</li> </ul>
第141回	R1.5.30	11/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度事業報告及び資金収支決算の承認について</li> <li>理事及び監事候補者の選任について</li> <li>評議員候補者の推薦について</li> <li>評議員選任・解任委員会の開催について</li> <li>評議員会の開催について</li> <li>ワークサポート白鳥の家作業棟（旧労働会館）の解体について</li> </ul>
第142回	R1.6.10	11/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>任期満了に伴う監事候補者の選任について</li> </ul>
第143回	R1.6.21	11/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>会長及び副会長の選定について</li> <li>評議員選任・解任委員の選任について</li> <li>顧問の委嘱について</li> </ul>
第144回	R1.8.23	11/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークサポート白鳥の家作業棟の建築工事入札について</li> <li>指定障害福祉サービス事業所運営規程改正（案）について</li> <li>第3回うきは市社会福祉大会の開催について</li> </ul>
第145回	R1.9.18	11/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークサポート白鳥の家作業棟新築工事について</li> <li>令和元年度金婚祝福の会について</li> <li>第3回うきは市社会福祉大会開催に伴う顕彰について</li> <li>諸規程の改正について</li> </ul>
第146回	R1.12.13	11/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>歳末たすけあい事業について</li> <li>第3回うきは市社会福祉大会における被表彰者選定について</li> <li>諸規定の改廃について</li> <li>葬祭事業委託料の改正について</li> </ul>
第147回	R2.2.28	11/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3回うきは市社会福祉大会について</li> <li>諸規程の改正について</li> <li>ワークサポート白鳥の家就労継続支援事業B型の利用者増員について</li> </ul>
第148回	R2.3.24	11/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度事業計画（案）・収支予算（案）について</li> <li>諸規程の改正について</li> </ul>

[会場：うきは市総合福祉センター]

②評議員会【全2回】次の日程・内容にて、評議員会を開催しました。

回数	期日	出席者 出席/総数	議案
第52回	R1.6.21	18/24	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度事業報告及び決算報告の承認について</li> <li>任期満了に伴う理事及び監事の選任について</li> </ul>
第53回	R2.3.30	16/22	<ul style="list-style-type: none"> <li>役員等報酬及び旅費支給規程改正（案）について</li> <li>令和2年度事業計画（案）及び資金収支予算（案）について</li> </ul>

[会場：うきは市総合福祉センター]



③監査【全5回】次の日程・内容にて監査を実施しました。

回数	期日	出席者 出席／総数	監査事項
第1回	R1.5.21	2/2	・平成30年度決算監査
第2回	R1.7.26	2/2	・平成31年度第1期監査（4月～6月）
第3回	R1.10.25	2/2	・平成31年度第2期監査（7月～9月）
第4回	R2.1.22	2/2	・平成31年度第3期監査（10月～12月）
第5回	R2.3.26	2/2	・平成31年度第4期監査（1月～2月）

[会場：うきは市総合福祉センター]

④会長・副会長【全5回】次の日程・内容にて、会長・副会長会を開催しました。

回数	期日	出席者 出席／総数	主な議題
第1回	H31.4.19	3/3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年度資金運用計画について</li> <li>・ワークサポート白鳥の家作業棟（旧労働会館）の改築について</li> <li>・諸規程の改正について</li> <li>・正規職員の採用について</li> <li>・理事会提案事項について</li> </ul>
第2回	R1.5.24	3/3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度事業報告及び資金収支決算の承認について</li> <li>・理事及び監事候補者の選任について</li> <li>・評議員候補者の推薦について</li> <li>・評議員会の開催について</li> <li>・ワークサポート白鳥の家作業棟（旧労働会館）の解体について</li> <li>・正規職員の採用について</li> <li>・理事会提案事項について</li> </ul>
第3回	R1.9.17	3/3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークサポート白鳥の家作業棟新築工事について</li> <li>・理事会提案事項について</li> </ul>
第4回	R1.12.12	3/3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歳末たすけあい事業について</li> <li>・第3回うきは市社会福祉大会における被表彰者選定について</li> <li>・諸規程の改廃について</li> <li>・葬祭事業委託料の改正について</li> <li>・「車に子どもが乗っています」ステッカー配布事業について</li> <li>・理事会提案事項について</li> </ul>
第5回	R2.3.17	3/3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員（監事）報酬について</li> <li>・諸規程の改正について</li> <li>・令和2年度事業計画（案）・収支予算（案）について</li> <li>・嘱託職員の採用について</li> <li>・嘱託職員の正規職員への登用について</li> <li>・パート職員の募集について</li> <li>・会費開封事務について</li> <li>・理事会提案事項について</li> </ul>

[会場：うきは市総合福祉センター]

⑤評議員選任・解任委員会【全1回】次の日程・内容にて評議員選任・解任委員会を開催しました。

回数	期日	出席者 出席／総数	内容
第4回	R1.6.6	5/5	・選出母体の役員変更に伴う新たな評議員の選任について

[会場：うきは市総合福祉センター]

### ⑥新任役員、評議員の研修の実施

期 日	参加人数	内 容
R1.7.11	10名	・事務局説明（社協の組織、運営、各課の業務内容） ・各事業所の見学

〔会場：うきは市総合福祉センター〕

### ⑦役職員視察研修の実施

期 日	視察先	参加人数	研修テーマ
R1.11.28～29	NPO 法人フードバンク北九州ライフアゲイン 認定 NPO 法人 抱樸	20名	フードバンク事業について 食のセーフティネット事業について ホームレス支援事業について 他

## (2) 法人の健全経営

- ①社会福祉法その他関係法令、内部諸規程に則った適切な経営
  - ・社会福祉法及び関係法令・通知の改正に伴う諸規程の改正
  - ・新規事業に伴う運営規程の改正
- ②顧問税理士の助言及び社会福祉協議会モデル経理規程に則った適切な財務・会計事務
  - ・消費税及び法人税納付関連事務
- ③顧問社会保険労務士の助言による適切な労務管理
  - ・働き方改革に伴う雇用管理改善の実施
- ④職員安全衛生推進委員会による働きやすい職場環境づくり
  - ・安全衛生推進委員会の開催（8月）
  - ・アドバイザー・保健師による職場巡回（8月）
  - ・「こころと体の相談」の実施（毎月）
  - ・健康診断要再検診者への受診指導
- ⑤監事による定期監査
  - ・資金運用計画に基づく経営状況の確認
  - ・職員時間外労働・有給休暇取得の確認
- ⑥第三者委員による苦情相談会開催（奇数月）

## (3) 財政基盤の強化

- ①社協会員の拡大…地域や関係団体への説明の機会を設け、会員加入促進を図りました。

### ア. 住民会員、賛助会員

地区名	住民会員			賛助会員		会費計
	(加入世帯 / 総世帯)	加入率	会費	加入口数	会費	
妹 川	127/147	86.4%	63,500円	102口	51,000円	114,500円
新 川	95/129	73.6%	47,500円	46口	23,000円	70,500円
田 籠	44/59	74.6%	22,000円	44口	22,000円	44,000円
小 塩	187/226	82.7%	93,500円	43口	21,600円	115,100円
山 春	717/884	81.1%	358,500円	499口	249,500円	608,000円
大 石	635/949	66.9%	317,500円	481口	240,500円	558,000円
御 幸	1,612/2,423	66.5%	806,100円	815口	407,700円	1,213,800円
千 年	614/1,574	39.0%	303,150円	183口	91,500円	394,650円
吉 井	1,101/1,676	65.7%	550,600円	223口	111,500円	662,100円
福 富	893/1,383	64.6%	384,650円	265口	104,000円	488,650円
江 南	688/1,080	63.7%	336,751円	80口	40,000円	376,751円
市 外				28口	14,000円	14,000円
合 計	6,713/10,530	63.8%	3,283,751円	2,809口	1,376,300円	4,660,051円

※住民会費は一世帯 500 円、賛助会費は 1 口 500 円ですが、募金と混同して入金があるため金額に端数が出ています。

※総世帯数は、区長文書配布数となっています。

#### イ. 団体会員（1団体 年会費5,000円）

- 社会福祉法人両筑福祉会（浮羽学園）
- 社会福祉法人浮羽コロニー（希望が丘）
- 社会福祉法人函南会（えびね荘）
- 社会福祉法人遊林福祉会（遊林愛児園）
- 社会福祉法人ふたば会（水月吉井、浮羽老人ホーム）
- 社会福祉法人素王福祉会（エバーガーデンうきは）
- 社会福祉法人幸輪会（うきは幸輪保育園、若葉保育園）
- 特定非営利活動法人みつば会（浮羽共同作業所）
- 絆データシステム株式会社
- 合計 9団体 45,000円

### （4）職員育成と職員体制の充実

#### ①研修計画に基づいた職員育成研修の実施

- ・職員全体研修（H31.4.17）  
内 容：平成31年度事業計画について（各課より説明）  
参加者：56名
- ・職員全体研修（R1.11.22）  
内 容：精神障害・発達障害・認知症・・・様々な課題を抱えた利用者の対応について  
講 師：医療法人昌和会見立病院 統括部長兼看護部長 精神看護専門看護師 熊本 勝治 氏  
参加者：60名
- ・人権研修（R2.2.5）  
演 題：「暮らしの中に豊かな人権感覚を」  
講 師：うきは市人権同和対策審議会 委員 原田 一郎 氏  
参加者：52名

#### ②人材確保を目的とする職員処遇改善

- ・常勤嘱託職員への扶養手当の支給（H31.4.1～）

#### ③職員の福祉資格取得促進

- ・資格取得及び更新研修費用の助成 6件

#### ④専門職員配置の充実

- ・平成31年度有資格者嘱託職員の採用

## 2. 各部門の総合調整、活動支援

### （1）管理職会議（月1回）

毎月1回定例にて会長以下、事務局長、課長、課長補佐、係長、管理者を招集し、管理職会議において事業の進捗状況、連絡調整事項等について協議しました。

## 3. 福祉給食

### （1）「食」の自立支援事業（市受託事業）

利用者の年間延べ人数は、1,366人（前年度比-186名）、延べ配食数は39,444食（前年度比-5,343食）となり、当初の配食計画数（44,000食）を、大幅に下回りました。配食数減少の要因として、市が対象者の見直しを行い、食の確保に加え、安否確認を必要とする一人暮らし高齢者等で、買い物に行くことができない方に制限し、事業を進めたことにあります。あわせて、民間の宅配サービスの利用増加も背景に見られました。

しかしながら、本事業利用により、栄養面から健康状態が回復されて、買い物に行けるようになった方、調理が出来るようになった方もおられて、在宅生活での自立支援につながっています。

献立については、栄養士が食材費を抑えつつ、地産地消を基本に季節感を味わって頂く工夫や栄養管理を行いました。

調理については、利用者の状態に応じて、おかゆや刻み食に変更したり、服薬等により禁食がある方については、献立内容を一部変更するなどの対応を行いました。また、お弁当を届ける際も玄関口まで出てこれない方には居室まで届けたり、弁当箱を洗うことができない方や犬猫を屋内で飼っている方には、衛生面に考慮し使い捨ての弁当箱（利用者負担）を使用するなど、利用者に応じて対応を行いました。

安否確認については、配食時に不在等で安否が確認できなかった方には、不在連絡用紙を添え、帰宅したら電話を頂くようにし、連絡がない場合は、本人及び親族あるいはケアマネジャーなどの関係者へ連絡を取るなどして、確認の徹底を図っています。今年度においても、配食時に体調不良に気づき家族や関係機関に連絡し救急搬送したケースや、自宅前道路で転び倒れているところを配食時に発見し救急車の手配をして大事に至らずに済んだケース等がありました。このように、安否確認においては、平素より関係機関と連絡相談等を密に行い、食の面から利用者が健康で安心した生活を送れるように努めてきました。

『食』の自立支援事業では、食の面から利用者の健康を支えるとともに、配達時の声かけや安否確認、平素からの関係機関との連絡・相談等を行いながら、住み慣れた地域でいつまでも自立した生活が送れるよう支援を行いました。

□配食日：月曜日～土曜日（但し、8/14・15、12/30～1/3を除く）昼食と夕食

□利用者負担：1食400円（但し、生活保護受給者1食300円）

□活動体制：調理 給食員4名

献立 栄養士（調理兼務）

配食 給食員とボランティア（36名登録、R2.3月末現在）

□配食コース：昼食4コース（内、ボランティア 月～土3名）

夕食7コース（内、ボランティア 月～土5名）

#### 【食の自立支援事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用者数	119	117	119	120	118	113	115	113	112	110	107	103	1,366	
実施日数	26	27	25	27	25	25	27	26	24	24	25	26	307	
配食数	昼食	1,152	1,050	1,045	1,204	1,065	1,056	1,187	1,073	978	989	1,064	1,124	12,987
	夕食	2,329	2,321	2,248	2,451	2,198	2,145	2,388	2,237	1,999	1,993	2,049	2,099	26,457
	合計	3,481	3,371	3,293	3,655	3,263	3,201	3,575	3,310	2,977	2,982	3,113	3,223	39,444

#### 【利用者区分 (R2.3月末現在)】

区分	一人暮らし高齢者	高齢者夫婦	障がい者	その他	合計
利用者数	79名	8名	6名	10名	103名

#### (2) あったか宅配サービス（ふれあいのまちづくり推進事業）

利用者や市の要望を受けて、市の「食の自立支援事業」を利用していたが中止となった方や、申込みをしたが該当しなかった方で、食の確保が必要と認められた方に、健康で自立した生活を送ることができるよう、配食を通して支援しました。

□利用者負担／1食500円

#### 【あったか宅配サービス実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	9	8	8	9	11	13	12	11	13	12	11	11	128
配食数	192	195	178	212	219	293	291	261	283	262	278	283	2947

※実利用者数16名

### 4. 管理・経営（指定管理）

#### (1) うきは市総合福祉センター

うきは市総合福祉センターが施設の目的に従って利用促進が図られるように努めました。

#### 【うきは市総合福祉センター利用実績】

	開館日数	一般用貸出室				その他の部屋	総利用者数
		利用料免除団体		一般利用			
		団体数	人数	団体数	人数		
年間計	289日	233団体	4,512人	27団体	348人	5,720人	10,580人
月平均	24.1日	19.4団体	376.0人	2.3団体	29.0人	476.7人	881.7人
1日平均	—	0.8団体	15.6人	0.1団体	1.2人	19.8人	36.6人

## 5. 福祉用具の無料貸出（地域福祉部門との協働）

### （1）福祉用具無料貸出

#### ①福祉用具無料貸出

在宅生活に支障のある方を支援するために、社協保有の福祉用具の貸出を行いました。

#### 【福祉用具の貸出状況】

貸出用具	貸出件数	貸出用具	貸出件数
車いす	90件	サイドレール	1件
介護用ベッド	4件	シャワーチェア	5件
ポータブルトイレ	19件	リフォームトイレ	1件
歩行器	4件	押し車	6件
サイドテーブル	1件	合 計	131件

#### ②老人クラブ奉仕部による福祉用具の点検実施

うきは市老人クラブ連合会の協力により、毎月当番を決め福祉用具の点検を実施いただいています。これにより、福祉用具を安心してご利用いただけます。

#### 【老人クラブ奉仕部による福祉用具の点検実施状況】

点検実施会場	点検回数	協力延人数
うきは市総合福祉センター	6回	12人
うきは市民センター	3回	3人
合 計	9回	15人

## 6. 公益事業（葬祭事業）

誰も訪れる死に対し、華美な飾り付けや出費をあおらず、荘厳で丁寧な葬儀を低額で提供できるようにサービスの充実に努めました。また、広報や地域での会合等を通して、社協の葬祭事業について市民への周知を図りました。

### （1）自宅、集会所、寺院、斎場での葬儀の実施状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自宅・寺院葬	0	1	4	1	0	2	1	0	2	2	1	1	15
斎場葬	本館	11	5	4	8	5	4	11	6	5	7	9	83
	和室	0	0	1	2	3	0	0	0	1	2	1	10
	別館	8	4	4	5	8	8	8	4	1	3	2	63
	小計	19	9	9	15	16	12	19	10	7	12	12	156
直 葬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	19	10	13	16	16	14	20	10	9	14	13	17	171
(内市外者)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市内死亡者数	32	31	30	40	24	35	41	28	26	39	39	49	414
市内利用率	59.4%	32.3%	43.3%	40.0%	66.7%	40.0%	48.8%	35.7%	34.6%	35.9%	33.3%	34.7%	41.3%

#### ①斎場葬の実施に伴うサービス提供

- ・無料送迎バスの実施・・・102件（利用率 65.4%）
- ・無料朝食提供の実施・・・118件（利用率 75.6%）

### （2）葬祭事業運営委員会

期 日	会 場	出席者	議 題
R1.7.23	うきは斎場本館おととき室	委員 10名	・事業実績等について ・設備改修・増設について
R2.2.7	うきは斎場本館おととき室	委員 10名	・施設整備について ・葬祭事業への意見・提言

#### ・委員会の提言事項

- ①エンディングノートの活用、終活セミナーの実施について十分検討し取り組んでいくことをお願いしたい。
- ②一層の吉井町域住民への周知と啓発をお願いしたい。
- ③故人と遺族に寄り添う福祉葬儀の充実に図り、利用者に優しい葬儀をお願いしたい。

### (3) 葬祭事業の周知

①広報誌「ふくしのかかわら版」へのチラシの折り込み。2回（7月号、12月号）

## 7. 九州豪雨災害支援

令和元年8月に発生した九州豪雨災害については、九州ブロック社会福祉協議会連合会の要請に基づき、佐賀県武雄市へ災害ボランティアセンターのスタッフとして職員を派遣しました。

この他、職員の自主的な活動として、ボランティアを募り被災地での支援活動も実施しました。

### (1) 職員派遣状況

派遣先	延日数	延人数	主な活動内容
武雄市（佐賀県）	5日	5人	マッチング、資材貸出

## 《企画調整係》

### 1. 調査・企画・広報事業

行政や関係機関より福祉に関する統計情報（データ）を収集し、うきは市の福祉の全体像を把握すると共に、福祉座談会や各部会活動・アンケート等を通して福祉課題を拾い上げました。

また、広報やホームページなど様々な媒体により地域福祉の情報を発信し、啓発活動を行い、社協の見える化を推進しました。

#### (1) 「ふくしのかかわら版」を活用したアンケートの実施

市民からの声を拾い上げるために、ふくしのかかわら版（6月号、9月号、3月号）を活用し、郵送形式の意識調査を実施しました。（3通）

また、ホームページにもお問い合わせのページを設けました。（2通）

なお送付いただいた内容については、事務局での検討や対応、市への取り次ぎ、あるいは地元の民生委員等と連絡を取り、状況確認と支援をおこないました。

#### (2) 年次調査統計要覧の作成

うきは市の人口・世帯の増減や高齢率・年少率等の参考データを算出するために、市福祉事務所福祉係を介して、情報処理係に依頼し、うきは市基本データを集積しました。

また、「年次調査統計要覧」の作成に伴い、福祉にかかる調査の結果や、人口、人口動態、高齢率等のうきは市勢の状況等のデータを集積しました。

#### (3) 社協だより「ふくしのかかわら版」の編集発行 年12回（共同募金配分事業）

うきは市内の地域福祉活動や福祉サービスに関する情報、その他の福祉意識の啓発に関する事などを、うきは市民にお伝えするために、毎月15日に「ふくしのかかわら版」を発行し、全戸に配布しました。

#### (4) ホームページの管理・運営 毎月1日、15日に定例更新（共同募金配分事業）

定期広報誌については発行に併せて月2回更新を行いました。また、ホームページ中のカレンダーには、随時、社協事業など最新の情報を掲載しました。

#### (5) フェイスブック・ツイッターの管理・運営

フェイスブック・ツイッターを通して、地域福祉の情報提供や啓発活動を行い、社協活動の見える化を推進しました。（フォロワー数／フェイスブック 823、ツイッター 468）

#### (6) 防災無線（行政放送）の活用

社協の相談窓口等をお知らせするために、市役所防災無線を活用させて頂きました。

#### (7) 住民啓発資材（社協名入り入浴剤、各種パンフレット等）

社協の連絡先や相談窓口を啓発するための資材として、入浴剤、ボールペン、クリアファイルなどを作成配布しました。

## (8) 福祉座談会の実施

社協活動や地域福祉活動計画、保健福祉動向について、地域での会合等にて説明を行い、地域福祉の啓発活動を行いました。(実施回数5回)

期 日	地域及び団体名
R1.5.16	千年地区区長会
R1.6.16	今川通区よりあい
R1.7.6	三春原区
R1.7.30	今泉区福祉会
R2.2.24	15 区

## 2. 介護予防・生活支援体制整備事業（市受託事業）（地域福祉部門との協働）

### (1) 「協議の場」づくりのための勉強会開催状況

うきは市では地域包括ケアシステムの構築に向けて、これまでのうきは市の支えあいの仕組みや活動を生かしながら、介護予防・生活支援・社会参加を一体的に捉え、「お互いさま」の気持ちを地域の中で具体的な仕組みにしていくという視点から、住民主体の「地域づくり」をさらに進めていこうとしています。そこで、地域住民と関係機関・団体（多様な主体）が、地域の課題を一緒に考え、介護予防・生活支援・社会参加の活動の充実に向け、多様な主体による多様なサービスが提供できるよう「協議の場（協議体）」設置に向け、平成28年度から旧小学校区単位での勉強会を順次開催しています。

今年度は小塩地区・山春地区・吉井地区がこの勉強会に取り組みました。なお、小塩地区・山春地区については協議の場へ移行し、今後「移動手段」について話し合いを行っていきます。

#### 【小塩地区協議の場づくりのための勉強会】

回 数	期 日	参加者数	内 容
第1回	R1.6.19	38名	・介護保険を取り巻く状況、小塩地区の現状 ・グループワーク「小塩地区にあったらいいなこんなもの・こんなこと」
第2回	R1.7.17	24名	・体の健康？心も健康？介護予防ってなんだろう ・グループワーク「健康寿命をのばすために、自分にできそうなこと、地域でできそうなこと」
第3回	R1.8.21	22名	・支え合いのまちづくり？地域包括ケアシステムってなんだろう？ ・支え合い・助け合いの様々な形 ・グループワーク「助け合いカードゲーム」「助けられ上手になるために」
第4回	R1.10.9	18名	・地域のいいところや社会資源を振り返ってみよう！ ・グループワーク「お宝さがしマッピング」
第5回	R1.11.20	15名	・うきは市の公共交通等について ・移動を支えるボランティア・地域活動について ・グループワーク 感想・質問、移動手段を充実させるためには？
第6回	R1.12.17	16名	・勉強会のふりかえりと今後について
第1回 協議の場	R2.1.29	19名	第1回小塩地区協議の場 「生活を支える移動支援について考えよう①」
小委員会	R2.2.27	10名	小塩地区アンケート小委員会

※令和元年6月～12月まで勉強会を行い、協議の場へ移行。移動手段をテーマに協議を行っていく。

#### 【山春地区協議の場づくりのための勉強会】

回 数	期 日	参加者数	内 容
第1回	R1.7.10	35名	・介護保険を取り巻く状況、山春地区の現状 ・グループワーク「山春地区にあったらいいな、こんなもの・こんなこと」
推進員会議	R1.9.11	10名	山春地区地域支え合い推進員会議
第2回	R1.9.12	49名	・体の健康？心も健康？介護予防ってなんだろう ・グループワーク「健康寿命をのばすために、自分にできそうなこと、地域でできそうなこと」
推進員会議	R1.10.9	9名	山春地区地域支え合い推進員会議
第3回	R1.10.15	34名	・支え合いのまちづくり？地域包括ケアシステムってなんだろう？ ・支え合い・助け合いの様々な形 ・グループワーク「助け合いカードゲーム」「助けられ上手になるために」

推進員会議	R1.10.30	9名	山春地区地域支え合い推進員会議
第4回	R1.11.11	35名	・地域のいいところをふりかえってみよう 事例報告「オレンジカフェ三春について」 報告者/グループホーム三春 宮崎氏
推進員会議	R1.11.27	9名	山春地区地域支え合い推進員会議
第5回	R1.12.9	25名	・地域のいいところ(強み)や資源を見える化してみよう ・グループワーク「お宝さがしマッピング」
推進員会議	R1.12.25	8名	山春地区地域支え合い推進員会議
第6回	R2.1.20	33名	・勉強会のふりかえりと今後について
第1回協議の場	R2.3.3	—	第1回山春地区協議の場 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止。
推進員会議	R2.3.26	10名	山春地区地域支え合い推進員会議

※令和元年7月～令和2年1月まで勉強会を行い、協議の場へ移行。移動手段をテーマに協議を行っていく。

#### 【吉井地区協議の場づくりのための勉強会】

回数	期日	参加者数	内容
第1回	R1.8.7	41名	・介護保険を取り巻く状況、吉井地区の現状 ・グループワーク「吉井地区にあったらいいな、こんなもの・こんなこと」
第2回	R1.9.19	22名	・体の健康?心も健康?介護予防ってなんだろう ・グループワーク「健康寿命をのばすために、自分にできそうなこと、地域でやっていること」
第3回	R1.11.13	14名	・支え合いのまちづくり?地域包括ケアシステムってなんだろう? ・支え合い・助け合いの様々な形 ・グループワーク「助け合いカードゲーム」「助けられ上手になるために」
第4回	R1.12.18	14名	・勉強会のふりかえりと今後について

## (2) 第2層協議の場の開催状況

協議の場づくりのための勉強会が終わった地区より、各地区での協議の場として話し合いの場へと移行し、下記の通り実施されました。また、江南地区、御幸地区、妹川地区、福富地区については、配置された第2層地域支え合い推進員によって、協議の場が進められています。協議の場等の開催にあたっては、第2層地域支え合い推進員と打合せを行ったうえで、その開催支援等を行いました。開催状況は下記のとおりです。

江南地区協議の場「かたらんね～江南」(全3回)

※令和2年3月13日(金)江南地区協議の場「かたらんね～江南」

新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止。

御幸地区協議の場「みゆき28」(全1回)

※令和2年2月25日(火)御幸地区協議の場「みゆき28」

新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止。

福富地区協議の場「ふくどみ未来塾」(全4回)

## (3) 第1層協議の場の開催状況

第2層協議の場及び各地区での取り組みの情報共有や課題提起等を目的とし、第1層協議の場を下記の通り開催しました。「PPK(びんびんころり)のために地域で何ができるのか?」をテーマに、介護予防・生活支援・社会参加について考えました。

#### 【第1層協議の場開催状況】

回数	期日	参加者数	内容
第5回	R1.6.11	65名	「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」 うきは市の認知症総合支援事業と地域での取り組み 説明者/うきは市役所保健課 グループワーク ①感想・質問 ②認知症に自分になってもこんな地域なら安心/こんな町ならいいなあ! アドバイザー/さわやか福祉財団 阿部かおり氏、竹下 順一氏



第6回	R1.11.12	55名	「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり②」 認知症の症状・認知症べんり帳について 説明者 / うきは市役所保健課 グループワーク ※架空の個別事例について検討 ①Aさんについてどんなこと（お手伝いや声かけ、情報を伝えるなど）ならできそうか ・地域にお住いの方 ご近所やお友達の一としてどんなことならできそうか ・介護事業所・企業・医療機関の方 それぞれの専門分野で、また皆さんとかかわりのある別の分野でどんなことならできそうか アドバイザー / さわやか福祉財団 阿部かおり氏、竹下 順一氏
第7回	R2.3.10	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

#### (4) 協議体設置に係る市・社協連絡調整会議

うきは市地域包括支援センター（市保健課地域包括支援係）と連携し、協議体設置に係る「市・社協連絡調整会議」を下記の通り実施しました。また、生活支援体制整備事業と我が事・丸ごとの地域づくり推進事業の連携のため、関係者の情報共有の場を実施しました。

回数	期日	参加者	検討内容
第1回	H31.4.11	保健課2名 社協2名	保健課との打ち合わせ ①小塩地区との勉強会・業務委託打ち合わせについて ②第1層協議の場について
第2回	H31.4.25	保健課3名 社協2名	保健課との打合せ ①小塩地区協議の場づくりのための勉強会について
第3回	R1.5.7	さわやか福祉財団2名 保健課3名 社協2名	保健課・さわやか福祉財団との打ち合わせ ①第1層協議の場について
第4回	R1.5.30	保健課2名 社協2名	保健課との打合せ ①小塩地区協議の場づくりのための勉強会について ②山春地区協議の場づくりのための勉強会について ③吉井地区協議の場づくりのための勉強会について ④福富地区協議の場について ⑤第1層協議の場について
第5回	R1.6.17	保健課2名 社協2名	保健課との打合せ ①小塩地区協議の場づくりのための勉強会について ②山春地区協議の場づくりのための勉強会について
第6回	R1.7.4	保健課2名 社協2名	保健課との打合せ ①第1回山春地区協議の場づくりのための勉強会について ②第2回小塩地区協議の場づくりのための勉強会について ③第12回江南地区協議の場について ④第1回福富地区協議の場について
第7回	R1.7.24	市民協働推進課2名 福祉事務所2名 保健課4名 社協5名	保健福祉事業にかかる情報共有会 ①生活支援体制整備事業について ②我が事丸ごとの地域づくり推進事業について
第8回	R1.8.1	保健課2名 社協2名	保健課との打合せ ①吉井地区協議の場づくりのための勉強会について ②小塩地区協議の場づくりのための勉強会について ③江南地区協議の場について ④福富地区協議の場について
第9回	R1.8.14	保健課2名 社協2名	保健課との打合せ ①吉井地区協議の場づくりのための勉強会について ②福富地区協議の場について
第10回	R1.9.2	保健課2名 社協2名	保健課との打合せ ①山春地区協議の場づくりのための勉強会について ②吉井地区協議の場づくりのための勉強会について ③江南地区協議の場について ④福富地区協議の場について ⑤小塩地区協議の場づくりのための勉強会について ⑥第1層協議の場について

第 11 回	R1.9.11	保健課 2 名 社協 2 名	保健課との打合せ ①山春地区協議の場づくりのための勉強会について ②吉井地区協議の場づくりのための勉強会について ③福富地区協議の場について ④江南地区協議の場について
第 12 回	R1.9.17	保健課 2 名 社協 2 名	保健課との打合せ ①吉井地区協議の場づくりのための勉強会について
第 13 回	R1.9.26	保健課 2 名 社協 2 名	保健課との打合せ ①第 1 層協議の場について
第 14 回	R1.10.11	さわやか福祉財団 2 名 保健課 2 名 社協 2 名	さわやか福祉財団・保健課打合せ ①第 1 層協議の場について ②第 2 層地域支え合い推進員研修会について
第 15 回	R1.10.29	保健課 3 名 社協 2 名	保健課との打合せ ①第 1 層協議の場について ②吉井地区協議の場づくりのための勉強会について ③山春地区協議の場づくりのための勉強会について
第 16 回	R1.11.8	保健課 4 名 社協 2 名	保健課との打合せ ①第 1 層協議の場について
第 17 回	R1.12.10	保健課 2 名 社協 2 名	保健課との打ち合わせ ①小塩地区協議の場づくりのための勉強会について ②吉井地区協議の場づくりのための勉強会について
第 18 回	R2.1.6	保健課 2 名 社協 2 名	保健課との打ち合わせ ①第 2 層地域支え合い推進員研修・交流会について
第 19 回	R2.1.8	さわやか福祉財団 1 名 保健課 2 名 社協 2 名	保健課・さわやか福祉財団との打ち合わせ ①第 2 層地域支え合い推進員研修・交流会について ②第 1 層協議の場について
第 20 回	R2.2.3	保健課 2 名 社協 1 名	保健課との打ち合わせ ①第 1 層協議の場について
第 21 回	R2.2.18	市民協働推進課 2 名 福祉事務所 2 名 保健課 4 名 社協 5 名	保健福祉事業にかかる情報共有会 ①生活支援体制整備事業について ②我が事丸ごとの地域づくり推進事業との連携について
第 22 回	R2.2.28	保健課 3 名 社協 1 名	保健課との打ち合わせ ①第 1 層協議の場について
第 23 回	R2.3.4	保健課 3 名 社協 1 名	保健課との打ち合わせ ①第 1 層協議の場について
第 24 回	R2.3.13	保健課 1 名 社協 1 名	保健課との打ち合わせ ①来年度の地域ケア会議及び第 1 層協議の場について
第 25 回	R2.3.17	さわやか福祉財団 2 名 保健課 4 名 社協 1 名	保健課・さわやか福祉財団との打ち合わせ ①来年度の第 1 層協議の場について ※中間市・長崎県佐世保市より、打ち合わせ見学のため来所。 打ち合わせ後、生活支援体制整備事業等について説明を行う。

## (5) 地域資源の開発

平成 28 年度に、大石地区自治協議会主催で行われた地域福祉講座をきっかけに、生活支援のボランティアグループ立ち上げに向けた検討がなされ、平成 29 年 7 月に住民型有償サービス「おいしい絆クラブ」が立ち上がりました。この活動は会員制の互助組織として、大石地区にお住まいの高齢者や障がい者等（利用会員）の生活上の困りごとを地区内に住む住民（協力会員）がお手伝いするというものです。この会の活動がスムーズに行えるように、役員会および協力会員定例会等に参加し、助言を行うなどの活動支援を行いました。

行政区での生活支援については、平成 30 年度途中より、吉井地区 14 区にて、生活支援ボランティアグループの立上げの検討がなされ、区内の高齢者や障がい者等（利用会員）の生活上の困りごとを区内に住む住民（協力会員）がお手伝いする、住民型有償サービス「14 区おたすけ隊」が立ち上がりました。この会の立上げに向けた準備支援、立上げ後の活動支援等を行いました。

また、平成 30 年度途中より、江南地区協議の場「かたらんね～江南」で協議を行い、試行実施をしております。軽自動車による移送支援については、令和元年 6 月より本格実施となり、多くの高齢者の移動を支えており、全国的にも先駆的なこの取り組みは、県内外から多くの視察を受け入れております。この活動の立上げに向けた準備支援および活動支援等を行いました。

## (6) 研修会等の開催状況

地域包括ケアシステムに関する研修会等の開催状況は以下の通りです。

期 日	対象者	内 容
R1.5.17	うきは市ボランティア連絡協議会 会員 49名	うきは市ボランティア連絡協議会 総会 研修会 「うきは市の協議の場の取り組みから生まれた地域の変化について」
R1.6.27	山春地区区長 山春地区民生委員・児童委員 山春地区福祉委員等 62名	山春地区の地域包括ケアシステムを考える研修会 ・介護保険を取り巻く状況、山春地区の現状 ・グループワーク ①山春地区にあったらいいこんなもの・こんなこと ②居場所づくりを進めるためのキャッチフレーズ
R1.12.20	移動支援ボランティア 第2層地域支え合い推進員 各地区自治協議会等 40名	地域で行う移動支援に関する情報交換会 ・各団体からの報告 ・個別相談会
R2.1.31	第2層地域支え合い推進員 各地区自治協議会 31名	第1回地域支え合い推進員研修会及び交流会 ・2025年に向けて 説明者/うきは市第1層地域支え合い推進員 ・グループワーク ①2025年に向けて自分達の地域がどうあってほしいか？ ②そのために、これまでの活動で生じた疑問点や意見

## (7) 地域ケア会議への参加について

市が主催する「地域ケア会議」に地域支え合い推進員が参加し、高齢者の実態把握や自立支援に向けた個別事例の検討、地域に共通した地域課題や地域に必要な資源の把握等を行いました。

## 3. 地域公益活動についての研究・実施（地域福祉部門・在宅福祉部門との協働）

地域福祉活動や在宅福祉事業など、様々な社協の取り組みの中から見えてくる新たなニーズや既存の制度では解決できない課題を解決するため、福岡県内の社会福祉法人が連携して、支援を必要とする方に対する相談支援活動である「ふくおかライフレスキュー事業」に参加しました。

ふくおかライフレスキュー事業とは、関係機関との連携を図り、相談活動を進めていく中で、支援を必要とする方の心理的不安の軽減を図るとともに、必要な制度やサービスにつなぐものです。また、生活保護等の既存制度では即応できない方で、経済的困窮により生活必需品や社会的サービスの利用が阻害されている方がいる場合、その費用等を現物により支援することもできます。

### 【ふくおかライフレスキュー事業支援実績】

対象者	相談経路	初期相談内容	支援内容	支援金額
40代男性の独居世帯	民生委員と 本人が来所	母が他界後、公共料金の支払い等を滞納し、生活費の捻出が出来ない状況	当面の食料品提供、公共料金等の滞納分の支払い、就労準備支援事業への繋ぎ	63,053円
20代男性の独居世帯	本人が来所	資格取得と就職に向け、当面の生活費や転居費の捻出ができない状況	生活用品の提供、通勤費用、資格取得に向けた支援	40,960円
50代女性と子ども3人の 母子世帯	本人が来所	家庭内トラブルがあり、公共料金・住宅費の滞納、生活費の捻出ができない状況	公共料金等の滞納分の支払い、食材・燃料の支払い、食料品・生活用品の提供	99,775円

## 4. 市内の社会福祉法人との連絡調整・協働

平成26年11月14日に、うきは市内の社会福祉法人が集まり、地域公益活動の研究・意見交換を行い、その結果、地域福祉の増進に寄与することを目的に、市内7法人で「うきは市社会福祉法人連絡協議会」を発足しました。今年度については、うきは市内の全社会福祉法人9法人が協働で社会貢献活動に取り組みました。

### 【うきは市社会福祉法人連絡協議会参加法人】

図南会（えびね荘）、ふたば会（水月吉井・浮羽老人ホーム）、浮羽コロニー（希望が丘）、両筑福祉会（浮羽学園）、遊林福祉会（遊林愛児園）、幸輪会（うきは幸輪保育園・若葉保育園）、素王福祉会（エバーガーデンうきは）、ひじり会（ひじり園うきは）、うきは市社会福祉協議会

(1) 代表者会、社会貢献プロジェクト委員会の実施

【うきは市社会福祉法人連絡協議会代表者会】

期 日	会 場	内 容
R1.6.14	うきは市総合福祉センター	①平成 30 年度うきは市社会福祉法人連絡協議会 事業報告 ②平成 30 年度うきは市社会福祉法人連絡協議会 決算報告、監査報告 ③平成 31 年度うきは市社会福祉法人連絡協議会 4 月・5 月 事業報告 ④平成 31 年度うきは市社会福祉法人連絡協議会研修会について ⑤各法人からのお知らせ
R1.10.3	うきは市総合福祉センター	①平成 31 年度上半期の取り組みについて ②うきは市社会福祉法人連絡協議会視察研修について ③うきは市社会福祉法人連絡協議会研修会について ④その他の行事について ⑤福岡ライフレスキュー事業について ⑥各法人からのお知らせ
R2.3.5	うきは市総合福祉センター	①令和 2 年度社会福祉法人連絡協議会事業計画・予算（案）について ②平成 31 年度うきは市社会福祉法人連絡協議会下半期の取り組みについて ③公益的な取り組みについての調査について ④その他 ⑤各法人よりお知らせ

【社会貢献プロジェクト委員会】

今年度は、各法人から選出された職員 11 名にて、全体の委員会での検討に加え、「景観美化活動小委員会」、「障がい者の休日、放課後等の居場所づくり小委員会」、「研修会小委員会」の 3 つの小委員会に分かれて検討しました。

期 日	会 場	内 容
H31.4.18	うきは市総合福祉センター	①社会貢献プロジェクト委員の交替について（自己紹介） ②社会貢献プロジェクト委員会について ③小委員会について ④平成 30 年度事業報告、振り返り（意見交換） ⑤平成 31 年度事業計画、地域貢献活動の取り組みについて ⑥各法人からのお知らせ
R1.6.21	うきは市総合福祉センター	①平成 31 年度 4・5 月事業報告 ②社会福祉法人連絡協議会研修会について ③各小委員会からの報告 ④各法人からのお知らせ
R1.9.12	うきは市総合福祉センター	①平成 31 年度上半期の事業報告 ②社会福祉法人連絡協議会研修会について ③各小委員会からの報告 ④各法人からのお知らせ
R2.2.13	うきは市総合福祉センター	①平成 31 年度下半期の取り組みについて ②社会福祉法人連絡協議会研修会について（振り返り） ③各小委員会からの報告 ④来年度の活動について ⑤その他 ⑥各法人からのお知らせ

【社会貢献プロジェクト委員会小委員会】

①景観美化活動小委員会

期 日	会 場	内 容
H31.4.18	うきは市総合福祉センター	「クリーン大作戦 うきは!!」について
R1.6.21	うきは市総合福祉センター	花植え活動の実施方法等について
R1.9.12	うきは市総合福祉センター	花植え活動の実施方法等について・役割分担について
R2.2.13	うきは市総合福祉センター	来年度の活動について

②障がい者の休日、放課後等の居場所づくり小委員会

期 日	会 場	内 容
H31.4.18	うきは市総合福祉センター	室内レクリエーション活動について

R1.5.22	エバーガーデンうきは	室内レクリエーション活動について
R1.6.21	うきは市総合福祉センター	室内レクリエーション活動について
R1.9.12	うきは市総合福祉センター	わくわくバスハイクについて
R1.10.11	エバーガーデンうきは	わくわくバスハイクについて
R2.1.29	エバーガーデンうきは	わくわくバスハイクについて
R2.2.13	うきは市総合福祉センター	来年度の活動について

### ③研修小委員会

期 日	会 場	内 容
H31.4.18	うきは市総合福祉センター	今年度の研修会の取り組みについて
R1.5.23	うきは市総合福祉センター	社会福祉法人連絡協議会研修会について
R1.6.21	うきは市総合福祉センター	社会福祉法人連絡協議会研修会について
R1.7.25	うきは市総合福祉センター	社会福祉法人連絡協議会研修会について
R1.9.12	うきは市総合福祉センター	社会福祉法人連絡協議会研修会について
R2.1.16	うきは市総合福祉センター	社会福祉法人連絡協議会研修会の振り返りについて
R2.2.13	うきは市総合福祉センター	来年度の活動について

## (2) うきは市社会福祉法人連絡協議会研修会等の協働実施

### ①うきは市社会福祉法人連絡協議会視察研修

今後の社会福祉法人連絡協議会の活動に向け、新宮町社会福祉法人連絡会の活動を視察するとともに、それぞれの取り組み内容や課題などについて意見交換を行いました。

期 日	会 場	参加者	内 容
R1.11.5	新宮町社会福祉協議会	代表者会委員、 プロジェクト委員 計 15 名	・新宮町社会福祉法人連絡会の取り組みについて ・意見交換

### ②うきは市社会福祉法人連絡協議会第4回研修会

うきは市社会福祉法人連絡協議会第4回研修会では、市内各社会福祉法人の連携強化に向け、それぞれの法人が行っている事業等について学ぶ機会が必要との意見から、4法人より法人の事業概要と地域との関わりについて報告していただきました。

事後のアンケートでも、「他の法人がどのような事業をしているかを知ることができた。」という意見や「法人間で連携できることがあるはずなので、検討する場があるといい」という意見もあり、今後の法人間連携に向けたよいきっかけとなる研修会となりました。

期 日	会 場	参加者数	内 容
R1.11.18	うきは市総合福祉センター 大会議室	81 名	1. 各社会福祉法人の概要等について ①両筑福祉社会（浮羽学園） ②幸輪会（うきは幸輪保育園・若葉保育園） ③遊林福祉社会（遊林愛児園） ④浮羽コロニー（希望が丘） 2. グループワークおよび質疑応答

## (3) 地域公益活動等の社会貢献活動の取り組み

今年度についても、社会貢献プロジェクト委員会等で検討しながら、地域公益活動等の取組みを以下のとおり行いました。

### ①相談体制の充実について

社会福祉法人連絡協議会の各法人で相談支援窓口を設置し、各法人連携しながら相談支援体制を強化するもので、各法人の相談担当者、相談分野を一覧表に取りまとめたものを見直し、各法人の相談員が相談連携に活用しました。また、広報誌や福祉委員委嘱状交付式等の際に、連絡会の取り組みを市民に周知し、活用推進を図りました。

### ②生活困窮者への物品等の提供について

物品や衣類・フードストックについて、社会福祉法人連絡協議会でも協力をして、社協の活動と一緒に参加するものです。社協より必要な物品についての情報を各法人に提供し、各法人は職員・保護者会等に周知を図り、社協に提供できるものを出し合い協力を行うこととしています。

### ③景観美化活動について

誰でも参加でき、見えやすい社会貢献活動ではという意見から、「クリーン大作戦うきは!!」として、今年度は社会福祉法人連絡協議会の職員と活動できる利用者と一緒に、JR筑後吉井駅の清掃活動、遊林愛児園での花植え活動及び自治協議会への寄贈を実施しました。

清掃活動では、施設利用者の方も他の施設の方や職員とともに、1時間弱ではありましたが、駅前の草取り、植木の伐採、池の清掃など、一生懸命取り組むことができました。また、清掃活動終了後は、総合福祉センターのほっとスペースにて参加者同士の交流会を行い、かき氷やポップコーンなどをみんなで食べ、おしゃべりする時間も設け、参加した方からも大変喜んでいただきました。

花植え活動では、遊林愛児園園庭にて行い、花植え活動の他、体操等を通して、施設利用者の方にとっても他の施設や園児との交流が深められる機会となりました。なお、皆さんが植えたプランターは大石コミュニティセンターへ寄贈しました。

期 日	場 所	参加者	内 容
R1.5.27	J R 筑後吉井駅周辺	施設利用者 19 名 ボランティア 2 名 職員 21 名 合計 42 名	筑後吉井駅の清掃活動 ほっとスペースでの交流会
R1.11.12	遊林愛児園園庭他	施設利用者 12 名 職員 14 名 合計 26 名	花植え活動および交流活動

### ④わくわく福祉出前講座（高齢者等の居場所作りの支援）について

保育、児童、障がい、高齢等の各分野で培った知識と人材を活用し、地域公益活動の取り組みとして、地域からの依頼により、地域福祉の増進を目的に「わくわく福祉出前講座」を以下の通り開催しました。よりあいやつどの場等で活用いただくことが多く、高齢者等の居場所づくりにつながりました。また、今年度は小学校が授業の一環として活用したり、ボランティアや福祉委員活動の研修等にも活用いただき、福祉教育の推進にもつながっています。

期 日	開催団体・場所	協力法人	内 容
H31.4.10	つどの場 かわはらさんち	図南会（えびね荘）	振り込め詐欺について
R1.5.15	若宮区よりあい	ふたば会（浮羽老人ホーム）	住み慣れた街で暮らし続けるために
R1.6.16	今川通区よりあい	うきは市社会福祉協議会	こんなことやっています！ あなたのまちの社会福祉協議会
R1.6.16	御幸通区福祉会学習会	うきは市社会福祉協議会	子どもの福祉の現状とは？
R1.6.20	上吉井区よりあい	図南会（えびね荘）	振り込め詐欺について
R1.7.9	千足五丁目区よりあい	図南会（えびね荘）	①振り込め詐欺について ②軽体操
R1.7.21	東長瀬区よりあい	図南会（えびね荘）	振り込め詐欺について
R1.7.26	大石地区自治協議会 健康福祉部会 研修会	図南会（えびね荘）	認知症の方への対応の仕方について
R1.9.9	安富区よりあい	ふたば会（水月吉井）	住み慣れた街で暮らし続けるために
R1.9.19	上吉井区よりあい	うきは市社会福祉協議会	介護保険について
R1.10.15	日ノ岡区よりあい	ひじり会（ひじり園うきは）	認知症の方への対応方法・声かけについて
R1.10.23	御幸小学校福祉教育	ふたば会（浮羽老人ホーム）	誰もが暮らしやすいまちってどんなまち？ ～年をとるってどんなこと？～
R1.11.11	江南地区 一人暮らし高齢者交流会	ひじり会（ひじり園うきは）	認知症の方への対応方法・声かけについて

#### ⑤障がい者の休日、放課後等の居場所づくりについて

施設利用者から、「平日は施設に行くのでいいが、休日は家でじっとしていることが多い。友達と遊ぶことも時にはあるが、休日楽しく過ごせる場所が欲しい。」という声から、障がい者の居場所づくりプロジェクトとして、6月には特別養護老人ホームえびね荘のデイホールにての室内レクリエーション活動を、10月にはわくわくバスハイクとして、大刀洗記念館・麒麟ビール甘木工場コスモス園の見学を行いました。

なお、3月に予定していた買い物支援については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止しました。

〔第1回〕 令和元年6月23日（日）

場 所／特別養護老人ホームえびね荘デイホール

内 容／デイホールでの室内ゲーム・食事会

参 加／参加者16名、スタッフ7名

〔第2回〕 令和元年10月27日（日）

場 所／大刀洗記念館・麒麟ビール甘木工場コスモス園

内 容／バスハイク

参 加／参加者11名 スタッフ5名

〔第3回〕 令和2年3月7日（土）※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止。

場 所／ゆめタウン久留米

内 容／買い物支援（ゆめタウンでの買い物・食事）

#### ⑥地域行事等への参加

地域行事に各社会福祉法人から積極的に参加し、各法人が地区自治協議会等とつながり、地域には何かあれば社会福祉法人が協力できることを伝えていく取り組みを行いました。

各地区の協議の場および協議の場づくりのための勉強会には、各法人より職員等が参加し、地域との連携で社会福祉法人としてできることなどの提案も行いました。

#### ⑦ひきこもり等の職場体験の受け入れについて

ひきこもり等の職場体験の受け入れについて、各法人が受け入れ出来ることをリスト化しました。社協からはケースに応じて各社会福祉法人に相談し、受け入れを実施していくこととし、平成28年度には、ふたば会（水月吉井）のご協力を得て、職場体験の受け入れをし、現在は就労に結び付いています。

#### ⑧情報提供の充実について

各社会福祉法人の紹介や相談窓口の広報、協働での地域における公益的な取り組みを紹介するため、社協ホームページ内に、社会福祉法人連絡協議会ページを作成して周知を図りました。

## II 地域福祉活動部門

### 《地域係》

#### 1. 部会・研究事業

##### (1) 部会

地域福祉の増進を図ることを目的に、専門事項について常時研究活動を行うことを目的とする部会を実施しました。

##### ①合同部会

部会名	期 日	出席者	協 議 事 項
合同部会	R1.8.20	委員 40 名	・委嘱状交付 ・部会の設置目的について

##### ②各部会開催状況

部会名	期 日	出席者	協 議 事 項
高齢者福祉部会	R1.8.20	委員 12 名	・前年度の部会提言の確認 ・今年度の部会活動について（意見交換）
	R1.10.21	委員 9 名	・高齢者困りごとアンケート調査結果の確認 ・市内の移動支援に関する取り組みについての意見交換
	R1.12.20	委員 9 名	・『地域で行う移動支援に関する情報交換会』への参加（各地区・団体の移動に関する取り組みを確認） ・情報交換会に参加しての意見交換 ・課題整理のためのアンケート調査について
	R2.2.25	委員 9 名	・移動支援に関するアンケートについて（内容検討）
障がい者（児）福祉部会	R1.8.20	委員 11 名	・前年度の部会提言の確認 ・今年度の部会活動について（意見交換）
	R1.11.26	委員 8 名	・地域生活支援拠点等事業について 講師／うきは市役所福祉事務所福祉係 ・障がい者の地域での見守りについて（意見交換）
	R2.2.5	委員 10 名	・地域住民向け研修の検討 ・市内事業所視察 ①障がい者支援事業所だいちに水 ②ワークサポート白鳥の家
児童福祉部会	R1.8.20	委員 9 名	・前年度の部会提言の確認 ・今年度の部会活動について（意見交換）
	R2.2.18	委員 7 名	・子どもに関する事業について ・施設見学
ボランティア部会	R1.8.20	委員 9 名	・前年度の部会提言の確認 ・今年度の部会活動について（意見交換）
	R2.3.27	委員 7 名	・おおいし絆クラブの活動について 講師／舎川博道氏、中嶋順子氏（おおいし絆クラブ） ・意見交換

#### 2. 連絡調整事業

##### (1) 連絡調整

行政をはじめとする関係機関との連絡・調整のため次のような会議を行いました。

連絡調整対象	連絡調整方法	連絡調整事項
地区自治協議会（福祉部門）	自治協議会（福祉部門）連絡会	活動推進、活動内容、事業日程他
うきは市民生委員・児童委員協議会	定例会、代表委員会	活動内容、研修内容他
行政（福祉事務所福祉係）	行政・社協事務連絡調整会議	受託事業、地域福祉事業推進他
行政（保健課）	行政・社協事務連絡調整会議	受託事業、生活支援体制整備事業他
行政（福祉事務所保護係）	行政・社協事務連絡調整会議	生活困窮者自立支援事業
行政（福祉事務所子育て支援係）	行政・社協事務連絡調整会議	子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業
両筑管内社協（6市町村社協）	両筑地区社協連絡会	事業内容情報交換、課題解決他



連絡調整対象	連絡調整方法	連絡調整事項
県南地区社協（10市町）	県南地区社協連絡協議会	事業内容情報交換、課題解決他
行政（市民協働推進課、福祉事務所、保健課）	行政・社協事務連絡調整会議	保健福祉関係事業全般に係る関係者の情報共有

## （2）委員会、会議等への参加

関係機関との連絡調整、事例検討、事業推進のため各種委員会、会議等へ参加しました。

委員会、会議等名称	主な内容	設置者（担当所管）
要保護児童対策地域協議会実務者会議	要保護児童についての情報交換、検討	福祉事務所子育て支援係
地域子育て支援センター実務者会議	未就園児に係る支援	遊林ランド
不登校・引きこもり対策相談支援事業サポート協議会	不登校・引きこもり対策相談支援事業に関するサポート協議	福祉事務所福祉係
ひとり暮らし高齢者等見守りネットワーク協議会	見守りネットワーク事業	保健課介護・高齢者支援係
うきは市自殺対策プロジェクト委員会	自殺対策の研究、防止啓発	福祉事務所福祉係
浮羽地域在宅医療連携拠点整備事業委員会	地域における在宅医療提供体制の検討	浮羽医師会
地域ケア会議	個別ケース検討、ネットワーク構築 地域課題の把握	保健課地域包括支援係
福岡県福祉情報センター障がい者福祉専門委員会	障がい者に係る情報誌の内容検討	福岡県社協

## 3. ふれあいのまちづくり推進事業（市補助事業）

### （1）総合相談・援助

市民の皆さまの気軽な相談窓口として、各種相談窓口を開設しました。

#### ①心配ごと相談（常設相談）

相談開設：毎週火・金曜日 9:00～15:00

相談場所：火／吉井事務所 金／浮羽事務所

開設日数	97
相談者	30
相談経路 来所	23
〃 電話	7
相談件数	30

#### 【相談援助事項】

終了解決	14	
相談継続	5	
社協による援助実施	1	
弁護士相談紹介	2	
他機関・組織への紹介	8	
内 訳	民生委員児童委員	2
	福祉事務所	0
	その他行政機関	6
	その他民間組織	0

#### 【相談事項の分類】

	相談事項	件数	分類	内数		相談事項	件数	分類	内数
暮らし 住まい	生計問題	1	公私借入問題	1	法律	人権法律問題	3	人権侵害	1
			求職	1		財産問題		遺産分割	2
	職業・生業問題	3	労働問題	1	福祉・ 教育	障がい者（児）福祉問題	1	障害者手帳	1
その他			1	そ の 他		苦情問題	行政施策に関する苦情	1	
家 族	住宅問題	1	その他		1		相隣関係の苦情	4	
			家庭問題		4		親子関係	1	その他の苦情一般
						嫁姑関係	1	その他	8
	家庭不和	1							
その他	1								
健康・ 医療	医療問題	2	離婚問題	1	合 計	30 件			
			医療費用	1					
			その他	1					

②第3者苦情相談

相談開設：6回

相談場所：浮羽事務所 5/7、9/3、1/7 実施  
：吉井事務所 7/2、11/5、3/3 実施

	浮羽	吉井	合計
相談開設	3	3	3
相談来訪者	0	0	0

③弁護士無料法律相談

相談開設：年12回（毎月第3木曜日）

相談場所：偶数月／浮羽事務所 奇数月／吉井事務所

相談開設	12
相談来訪者	80
相談件数	87

【相談結果】

指導助言により終了	83	
扶助協会への紹介	0	
弁護士紹介	4	
内訳	相談担当者直受	0
	継続相談	4
	相談担当者以外	0

	相談事項	件数	分類	内数	
	一般民事関係	不動産関係	14	所有権	2
登記				2	
賃借権				2	
境界				1	
相隣				1	
その他				6	
債権関係				12	賃金
その他		4			
損害賠償		9	交通事故	1	
			医療事故	3	
			傷害	2	
			その他	3	
		相談事項	件数	分類	内数
一般民事関係		その他	5	倒産破産	1
	その他			4	
	家事関係	46	離婚	15	
			離婚以外の夫婦関係	2	
			相続	21	
親子			4		
一般刑事	1	事件	1		
合計		87件			

④司法書士相談（福岡県司法書士会筑後支部との共催）

相談開設：年12回（毎月第4木曜日）

相談場所：偶数月／吉井事務所、奇数月／浮羽事務所

※社協は受付事務および部屋の貸出を実施

相談開設	12
相談来訪者	31
相談件数	31

【相談結果】

指導助言	31
相談継続	0

【相談事項の分類】

不動産登記関連	8
相続関連	10
借金関連	3
裁判関連	1
成年後見関連	2
会社登記関連	0
その他	7

⑤相談員研修

相談員の資質向上を図るため次の研修会を実施しました。

期 日	会 場	参加者数	研修内容
R1.10.2	うきは市総合福祉センター	8名	・相談員委嘱状交付 ・研修「うきは市や県内の犯罪や詐欺被害の状況について」 「交通事故の現状や免許返納の状況について」 講師/うきは警察署 生活安全課 課長 磯本 孝史 氏 交通安全課 課長 川元 真介 氏
R2.2.10	うきは市総合福祉センター	11名	・研修「相続法の改正について」「家族信託について」 講師/弁護士法人しらぬひ柳川事務所 桑原 義浩 氏

(2) 地域生活支援事業

①地区自治協議会（福祉部門）・活動費助成

自治協議会（福祉部門）活動について、地区担当職員を配置し、活動支援、連絡調整などを行いました。

[地区自治協議会（福祉部門）活動費算定基準]

基本配分：各地区とも一律 70,000 円

区数配分：一行政区につき 3,500 円

世帯数配分：一世帯につき 175 円

高齢率配分：うきは市の高齢率 33.7%（H31.4.1 現在）を基本値（100%）として、各地の高齢率比率を算出し、基本額 100,000 円から、その比率に応じて算出。

各地区自治協議会（福祉部門）に次の活動費を助成しました。

【各地区自治協議会助成実績】

妹 川	新 川	田 箆	小 塩	山 春	大 石	御 幸
220,000 円	157,716 円	124,589 円	200,993 円	396,500 円	421,000 円	650,000 円

千 年	吉 井	福 富	江 南	合 計
200,455 円	537,100 円	63,087 円	360,296 円	3,331,736 円

※上記金額には、過年度返還金を差し引いた金額を記載しております。

※活動費は各地区自治協議会（福祉部門）における、地区福祉大会、友愛訪問、福祉委員の研修、先進地・施設視察研修など、それぞれの地区活動に活用されています。

※台風接近および新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動が中止となった地区もあります。

②地区自治協議会（福祉部門）連絡会

各地区自治協議会（福祉部門）の連携や情報交換をおこなうため、自治協議会（福祉部門）連絡会を開催しました。

【地区自治協議会（福祉部門）連絡会 検討内容】

回	期 日	検討・情報交換項目
第 1 回	R1.6.13	・各地区自治協議会（福祉部門）平成 30 年度事業報告について ・各地区自治協議会（福祉部門）平成 31 年度事業計画について ・福祉小座談会の開催の推進について
第 2 回	R1.11.8	・各地区自治協議会（福祉部門）中間報告 ・福祉小座談会の開催状況及び推進について ・福祉会の設置状況及び推進について ・歳末たすけあい活動について

③地区地域福祉活動計画策定支援

平成 21 年度にふれあいセンター御幸、23 年度にふれあいセンター妹川と江南公民館福祉部（現江南地区自治協議会福祉部）が策定を終了し、計画に沿って、地区の福祉活動が推進されています。

社協では、他の地区についても計画策定の推進をしておりますが、自治協議会が策定した地域計画との関係もあり、計画策定の検討が保留となりました。

#### ④よりあい活動支援

活動報告書の提出があった以下のよりあい活動に対して、活動費の助成を行いました。

開催回数／305回 開催区数／87箇所

参加内訳：高齢者／3,887名 世話人／1,145名 その他／489名 参加者計／5,021名

地区	開催区/行政区数	高齢者	世話人	その他	参加者計	開催数
妹川地区	2/5	277	75	19	371	15
新川地区	0/8	0	0	0	0	0
田籠地区	0/1	0	0	0	0	0
小塩地区	6/13	214	39	16	269	30
山春地区	14/17	427	157	71	655	36
大石地区	17/18	419	229	76	724	52
御幸地区	19/28	783	282	112	1,177	41
千年地区	9/20	428	131	73	632	54
福富地区	8/15	284	81	43	408	24
吉井地区	3/23	70	34	7	111	7
江南地区	9/19	485	117	72	674	46
合計	87/167	3,387	1,145	489	5,021	305

※小塩地区については、旧行政区にて集計しています。

※なお、よりあい活動を実施していても助成の必要がなく、活動報告書を提出していない区もあります。

※よりあい会へは地域の企業・団体にもご協力いただき、正しい薬の使い方や、健康に関するお話をいただいています。

・浮羽薬剤師会による住民向け講話（8回） 久留米ヤクルト販売㈱による出前健康教室（4回）

#### ⑤地域生活支援活動の支援・助成

うきは市全域・地区・行政区を活動範囲とした、地区自治協議会・行政区・ボランティア団体等が行う生活支援活動に対して、役員会・定例会等への参加等の活動支援および、団体の立上げ・運営・活動に対する助成を行いました。

助成団体

- 1) 住民型有償サービス おおいし絆クラブ：47,500円（大石校区内における生活支援活動）
- 2) 住民型有償サービス 14区おたすけ隊：58,500円（14区内における生活支援活動）

### (3) 住民参加による地域福祉事業

#### ①うきは絆プロジェクト活動

地域住民等に参加を呼びかけ、総合福祉センター利用者とのふれあい餅つき交流会を実施しました。

期日	活動
R1.12.19	ふれあい餅つき交流会

#### ②ボランティア活動の推進

ア. ボランティアセンター運営

ボランティアセンターでは、毎週月曜日～土曜日（日、祝日は休み）の8:30～17:15にボランティア活動に係る様々な相談、依頼を受けて需給調整をおこないました。また、月・水・金曜日の9:30～15:00は、ボランティアコーディネーターがボランティアセンターに常駐し、ボランティアに関する相談に応じました。なお、月1回ボランティアコーディネーター会議を開き、ボランティア相談に関する検討等を行いました。

【ボランティアセンター相談受付状況】

(件)

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
①活動希望	1	0	0	1	0	0	2	0	1	2	1	1	9
②ボランティア依頼	34	26	27	24	33	25	31	23	25	26	18	20	312
③情報収集	0	3	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	7
④その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
合計	35	29	27	25	33	25	34	24	27	29	20	21	329

イ. ボランティアニーズ需給調整

ボランティア活動依頼については、うきは市ボランティア連絡協議会加入団体や会員制互助組織（低額有償サービス）への斡旋等を行いました。また、ボランティア活動や会員制互助組織で対応できないケースについては、シルバー人材センターやその他の機関へ連絡し対応していただいたケースもありました。

ボランティア活動相談については、希望に応じて各機関と連絡調整しながら、ボランティア参加を促しました。団塊の世代が退職を迎え、地域での新たな役割として、ボランティア活動への参加が促せるよう、ボランティアに関する広報のあり方や、地域のニーズに応えられるような講座の開催を検討していく必要があります。

【ボランティア活動依頼内訳】

(件)

内 容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外出	通院・通所介助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外出・旅行介助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	移送ボランティア	33	24	25	21	28	22	27	23	25	26	16	20	290
生活援助	家事援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小修理	0	2	1	2	1	2	2	0	0	0	1	0	11
	理容・美容カット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
友愛訪問	保育・遊び相手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	話し相手・安否確認	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	イベント手伝い・出し物披露	1	0	0	1	3	1	1	0	0	0	0	0	7
技能提供	朗読・点訳	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	手話・筆記通訳	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	手話・点字指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他のボランティア		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合 計		34	26	27	24	33	25	31	23	25	26	17	20	311

ウ. ボランティア保険加入促進

うきは市内でボランティア活動をおこなう方々に、安心してボランティア活動ができるように、ボランティア活動保険を紹介し、加入を促進しました。

【ボランティア保険加入者数 717 名】

エ. ボランティア活動団体支援・助成

うきは市ボランティア連絡協議会には、複数のボランティア団体が登録していただいておりますが、それぞれの団体活動や運営が円滑に進められるよう、活動費の助成や活動支援を行いました。(助成金額 754,117 円) また、5/17 ボランティア連絡協議会総会、10/29 ボランティア連絡協議会役員研修 (熊本県玉名市ボランティア連絡協議会)、1/18 ボラ連会員のつどいが行われ、活動支援を行っています。

【うきは市ボランティアセンター登録・把握団体一覧表】

(令和2年3月31日現在)

	団体名	会員数	活動内容
うきは市ボランティア連絡協議会	浮羽町日本赤十字看護奉仕団あいの会	99	高齢者（一人暮らし・老夫婦）とのふれあい食事会や手作り弁当の声かけ訪問配布、年未年始声かけ訪問等を行う
	声のグループうさぎ	8	視覚障がい者の方に市情報（広報うきは、社協だより、市議会だより等）や物語を録音し届ける
	小修理ボランティア	3	高齢者世帯や障がい世帯を主として、家屋等の小修理、庭木の枝切り、廃品の搬送を実施
	ハンディ移送サービスうきは	13	高齢者・障がい者の病院等へ移送サービス（会員制）
	七施会	14	社協の福祉給食の配食活動、白鳥の家アルミ缶回収時運転
	ハッピーかい	20	福祉施設や市内のよりあいでの手のぬくもりと会話による癒しのお届け
	朗読ボランティアともしび会	7	視覚障がい者の方に市情報（広報うきは、社協だより、市議会だより等）や物語を録音し届ける
	点訳ボランティア点筆の会	7	視覚障がい者の方に暮らしに役立つ身近な情報を点訳し届ける
	調理ボランティアかりん	19	よりあいの昼食づくり、一人暮らし高齢者交流会での調理協力、福祉施設夏祭り手伝い
	夕月の会	8	一人暮らし交流会、施設訪問にて銭太鼓等を披露
	団体・グループ：10 会員数：198名		
把握団体	うきは市手話の会	20	聴覚障がい者の社会コミュニケーション保障と通訳者の養成
	湯の花よかよか会	25	高齢者を対象に健康づくり体操を実施
	うきうき会（健康づくりボランティア）	18	公民館等において高齢者を対象に体操等を実施
	うきは市食生活改善推進会	50	地域における食生活改善普及の徹底と実践活動
	グループいろり	10	クリスマス時期にサンタクロースに扮し、子どもや高齢者にプレゼントを配布
	うきは図書館友の会	16	図書館行事の支援ボランティア
	幸せの会クローバー	6	現役在宅介護者の相談相手や、介護教室等のサポート
	JRVC チーム蛍火	13	災害ボランティア、ホテル再生活動、被災者支援、防災教育
	防災ネットワーク 人のわ（輪）	4	防災啓発としての講演、計画支援、訓練支援等、発災時及び発災後の支援
	圭柳会	10	福祉施設への訪問活動、敬老会などへの協力
団体・グループ：10 会員数：172			
個人	運転ボランティア	22	社協の福祉給食の配食活動
	よりあいコーディネーター	30	市内でのよりあいで健康体操、手遊び、ゲームなどの指導支援
	個人登録ボランティア	15	ボランティアセンター個人登録者
個人：59名			
活動者合計 団体・グループ 20（370名） 個人：59名			

オ. ボランティア活動資材の購入・貸出

様々なボランティア活動のニーズに対応するため、また、より良いボランティア活動を推進していくために必要な資材等を購入し、貸出を行い、推進に努めました。

カ. よりあいコーディネーター派遣事業

よりあい開催区より指導依頼のあった場合、よりあいコーディネーターに依頼して、派遣指導を実施していただきました。（よりあいコーディネーター登録者：個人 30名 団体 2団体）

【ボランティア派遣実績】

(個人/人・団体/団体)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個人	13	17	21	37	8	15	21	39	16	14	20	0	221
団体	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	1	0	5

キ. ボランティア講習会・研修会の開催

現在ボランティア活動をされている方、これからボランティア活動をはじめたい方を対象に、次のようなボランティア講習会を開催しました。また、ボラ連に加入しているボランティアグループの研修開催の支援も行いました。

期 日	会 場	参加者数	内 容
R1.7.24	総合福祉センター	20名	運転ボランティア安全運転講習会（講話：うきは警察署）
R1.9.27	総合福祉センター	13名	ボランティア対象救命講習（講話・実技：うきは消防署）
R1.11.6	うきは自動車学校	20名	運転ボランティア安全運転講習会（実技：うきは自動車学校）

ク. ボランティア研修・つどい等への参加

ボランティアの資質向上を図り、他市町村ボランティアとの連携強化のため、次のつどいに参加しました。

期 日	会 場	参加者数	内 容
R2.1.18	るり色ふるさと館	100名	ボラ連会員のつどい
R2.2.16	クローバープラザ（春日市）	40名	ふくおか"きずな"フェスティバル

#### （4）災害緊急支援活動

##### ①災害ボランティアセンターマニュアルの随時見直し

緊急・災害対策検討委員会を設置し、災害ボランティアセンターマニュアルの見直しの検討等を行いました。

回 数	期 日	内 容
第1回	R1.5.15	災害ボランティアセンター設置運営訓練について
第2回	R1.5.23	災害ボランティアセンター設置運営訓練について
第3回	R1.6.24	災害ボランティアセンター設置運営訓練について

##### ②災害ボランティアセンター設置運営訓練の開催

うきは市災害ボランティアセンターに係るうきは市との協定に基づき、平時の取り組みとして、6/30 災害ボランティアセンター設置・運営訓練を行いました。今回は、訓練後に災害時の被災状況を想定した地域資源確認演習やニーズ票作成演習を行いました。また、大刀洗町社会福祉協議会の池松昌亀氏をお招きし、災害ボランティアセンター設置運営訓練について総評いただきました。

平常時からこうした訓練を実施し、災害発生時や緊急時の支援体制の強化を図っています。

期 日	内 容
R1.5.30	災害ボランティアセンター設置運営訓練 班長打合せ
R1.6.30	災害ボランティアセンター設置運営訓練

## 4. 共同募金配分金事業

### （1）福祉教育に関する事業

#### ①福祉教育指定校連絡会

各学校での福祉教育活動の情報交換を行うために、福祉教育指定校連絡会を開催しました。

（福祉教育指定校連絡会開催日 令和元年6月26日）

#### ②福祉教育指定校助成

市内の全小中高等学校 11 校に対して、福祉教育指定校として福祉教育を推進するための活動支援及び助成金（合計 739,879 円）を交付しました。（内訳／小中学校 10 校× 70,000 円、浮羽真館高等学校 39,879 円）

#### ③福祉体験学習の支援

学校からの依頼を受けて、児童を対象に福祉体験学習を実施。ゲストティーチャー等の斡旋を行いました。体験学習を実施する際には、地域の方やボランティア、市内福祉施設の職員の方や入所されている方にもご協力いただきました。

期 日	学校名	内 容
R1.10.9	御幸小 4 年生	聴覚障がいについて、手話体験（当事者からのお話し、ふれあい）
R1.10.15		視覚障がいについて、点字体験（当事者からのお話し、ふれあい）
R1.10.21		身体障がいについて、車いす体験（当事者からのお話し、ふれあい）
R1.10.23		高齢になることについて（当事者及び水月吉井職員からのお話し、ふれあい）
R1.11.22	福富小 4 年生	視覚障がいについて、点字体験（当事者からのお話し、ふれあい）
R1.11.25		身体障がいについて、車いす体験（当事者からのお話し、ふれあい）

④福祉教育読本の配布

福岡県社協が編集作成している、福祉教育読本「ともに生きる」を福祉教育教材として市内全小学校の4年生および担当教諭に1冊ずつ配布しました。

・270冊 (27,000円)

(2) 高齢者への支援

①よりあい遊具無料貸出

各区でのよりあい活動等に対して、福祉レクリエーション遊具の無料貸出を行いました。

②金婚祝福の会

結婚50周年を迎えられたうきは市内に居住の方を対象に、金婚祝福の会を行いました。

- ・開催日/令和元年11月1日 会場/JAにじ総合会館アルカス 該当者/55組
- ・祝福の会出席者/51組(101名)

③老人クラブ連合会活動支援・助成

老人クラブ連合会について、担当職員を配置し、団体活動の側面的支援を行うほか、助成を行いました。

団体名	助成金額	活動内容
うきは市老人クラブ連合会	675,550円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者相互支援活動保険加入</li> <li>・新任会長研修 ・広報誌発行費</li> <li>・県老連ゲートボール大会 ・リーダー研修</li> <li>・高齢者相互支援活動 ・視察研修</li> </ul>

④高齢者安心カード作成(個人情報記載携帯カード)

高齢者安心カードを作成するために、老人クラブを通じて概ね75歳以上の登録希望者の方に申し込み記入用紙を配布し、158名の方の携帯用カードの作成と配布を行いました。

(3) 児童・青少年福祉に関する支援

①子育て支援団体助成

子育て支援に関わる各団体・組織に活動費の助成を行いました。

団体名	助成金額	活動内容
子育てサークル ちびっこ広場	9,018円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子英会話</li> <li>・親子ヨガ</li> </ul>

②子ども用遊具貸出

子ども会や各子育て支援団体等に必要遊具の貸出を行いました。

③母子・父子福祉活動事業

平成31年度小学校に入学されるお子さん(母子・父子家庭)に対して、新入学お祝いとして、お祝いを希望される世帯のお子さんに対して学用品(水彩道具セット)をお送りしました。

(新入学児童数:22名)

④母子寡婦福祉会活動支援・助成

うきは市母子寡婦福祉会について、担当職員を配置し、団体活動の側面的支援を行うほか、助成を行いました。

団体名	助成金額	活動内容
うきは市母子寡婦福祉会	313,000円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子バスハイク(マリンワールド海の中道)</li> <li>・寡婦研修会(朝倉市秋月)</li> <li>・寡婦(6/15)、若年(8/11)野球観戦</li> <li>・若年クリスマス会</li> <li>・両筑ブロック交流研修会(朝倉市)</li> </ul>



⑤子育て支援情報の提供

社協の広報誌「ふくしのかかわら版」にて、母子寡婦福祉会や子育て支援グループ、地域子育て支援センターの活動に関する情報提供を行いました。

⑥夏休みの福祉体験学習

夏休み期間を利用して、市内の児童を対象に福祉体験学習をおこないました。今年度は、買い物体験、料理教室、お金について考える学習会をおこないました。また、浮羽究真館高等学校の学生に児童の支援としてボランティアで協力いただきました。

- ・実施日：令和元年8月16日
- ・参加者：29名（小学生19名、高校生ボランティア・教諭6名、講師1名、スタッフ3名）
- ・内容：買い物体験、料理教室、講話、レクリエーション  
講話／「お金について」  
講師／福岡銀行吉井支店 副支店長 吉岡 英樹 氏

⑦育児用品リサイクル事業への協力

育児用品の寄贈の受付・保管・貸出については総合福祉センター2階子育て支援センター「子ども交流室」にて行い、点検と清掃は社協・ボランティアセンターにて実施しました。

⑧保護司会青少年弁論大会への支援・助成

うきは保護区保護司会が行った「うきは青少年弁論大会」への助成を行いました。（助成金額 40,000 円）

⑨「車に子どもが乗っています」ステッカーの配布

うきは市に生まれる子ども達を、地域の皆で支え・育てるという意識の醸成および赤い羽根共同募金の周知・協力の推進を目的に、本会にて作成したステッカー及び子育て等に関する相談窓口などを記載したチラシを、令和2年1月よりうきは市役所にご協力いただき、出生届提出時に市役所窓口にて配布しました。

- ・配布者数：37名（令和2年1月～3月）

(4) 障がい者・家族への支援

①障がい者団体活動支援・助成

障がい者（支援）団体について、担当職員を配置し、団体活動の側面的支援を行うほか、助成を行いました。

団体名	助成金額	活動内容
うきは市障がい者福祉協会	479,546 円	・部会活動（聴覚障がい者部会他） ・会員交流活動
うきは市手話の会	22,610 円	・会員・研修交流活動
うきは地区精神障害者家族会	120,000 円	・会員交流活動
合計	622,156 円	

②障がい者福祉情報の提供

ふくしのかかわら版にて、障がい者に関する団体の活動情報や福祉サービスに関する情報提供を行いました。また、障がい者（児）福祉部会にて協議・作成を行った地域資源の情報誌「うきは市障がい者地域資源ガイド」を当事者及び支援者へ配布しました。

(5) 住民全般に関する事業

①社協だよりの発行

うきは市内の地域福祉活動や福祉サービスに関する情報、その他の地域生活課題に関する事などを、うきは市民の皆さまにお伝えするために、毎月15日に「ふくしのかかわら版」を発行し、全戸に配布しました。

②福祉委員だよりの発行

福祉委員の活動内容や福祉委員から地域の高齢者に伝えて欲しい情報などをお伝えするために、毎月1日に「福祉委員かわら版」を発行し、全福祉委員および各区長、民生委員児童委員に配付しました。

③赤い羽根だよりの発行

赤い羽根共同募金および歳末たすけあい募金の協力実績や活動実績を市民の皆さんへお知らせするために、「赤い羽根だよりの発行し、全戸に配布しました。(年1回)

④地域憩いの広場施設整備・補修の助成

地域憩いの広場施設整備・補修の助成をおこなっていますが、今年度は申請がありませんでした。

⑤要支援・低所得世帯に対する無償野菜・お米等の配達訪問

JAにじ「耳納の里」ならびに農産物搬入者のご厚意により、過剰分の野菜を毎週月・水・金曜日にいただき、市内在住の要支援・低所得世帯に安否確認を兼ねた訪問、配布を行いました。また、市民の皆様からご寄付いただいたお米もあわせてお配りしました。(区分の重複あり。実人員37名、2機関)

区分	対象者	延べ回数	備考
低所得世帯	13名	144回	
障がい世帯	11名	143回	
生保世帯	13名	64回	保護開始前、停止後の支援も実施
その他	2事業	2回	困窮事業等
合計	39件	353回	

⑥要支援・低所得世帯に対する物品寄付

市民の皆様や各関係機関から寄贈していただいた物品を社協にて管理し、要支援・低所得により物品を購入する事が難しい方にお渡しし、利用していただいています。

物品寄贈数	24件	家具…3件 大型家電(冷蔵庫や洗濯機、エアコン)…8件 家電(上記以外の家電)…11件 自転車…1件 寝具…1件
物品配布数	21件	

⑦火災等災害被災者へのお見舞い

火災の被害に遭われた市民の方に対し、見舞金を贈りました。

・件数：6世帯

見舞金：5世帯(総額：205,000円) 寝具一式：1世帯

(6) 歳末たすけあい配分事業に関すること

①年末見舞金

年末見舞金として次の方々に取り次ぎしました。(見舞事業総額：2,275,000円)

援護の必要な世帯	34世帯	1,060,000円	事故・病気・災害遺児	3名	45,000円
長期在宅療養・認知症の方	24名	360,000円	両親の扶養のない児童	3名	45,000円
在宅重度障がい者(児)	51名	765,000円			

②年末年始援助活動

年末年始援助活動費として次の事業に助成金を交付しました。(事業費総額：1,585,687円)

①福祉施設歳末行事(6施設)	207,685円	⑥自治協議会(福祉部門) 歳末支援活動	607,524円
浮羽学園、吉井幼稚園、介護老人保健施設うきは、 希望が丘、グループホーム三春(オレンジカフェ三春) ワークサポート白鳥の家		田籠・新川・小塩・妹川・御幸・山春・大石・福富・吉井 江南・千年地区自治協議会(福祉部門)	
②一人暮らし高齢者等見守り訪問活動	495,924円	⑦子育て支援事業	138,720円
見守りの必要な世帯へのカレンダー配布(617世帯)		グループいろいろ「みんなでハッピークリスマス～サンタが街にやってきた～」	
③交流活動事業	55,788円	大石学童保育所(ラビットクラブ)「クリスマス会」	
チャレンジ・ド・親の会「障がい児(者)と家族の親睦会」		福富学童保育所「クリスマス会」	
ハッピーかい「会話を楽しみながら、心の癒しと手のぬくもりのお届け」		江南学童保育所(きらきらルーム)「クリスマス会」	
④正月用お餅配布事業	34,863円	子育てサークルちびっこ広場「クリスマス会」	
		⑧年賀状配布事業	3,087円

少林寺拳法浮羽道場によるお餅配布		吉井幼稚園による一人暮らし高齢者の方への年賀状配布 (49 通)	
⑤地域交流事業	30,343 円	⑨カレンダー配布事業	3,361 円
江南地区自治協議会女性部による 「かたらんね食堂 (地域食堂)」 (参加者 160 名)		吉井幼稚園による一人暮らし高齢者の方への加がた - 配布 (340 枚)	
		⑩配分決定通知郵便代等	8,392 円

## 5. 我が事・丸ごとの地域づくり推進事業 (市受託事業)

少子高齢化、人口減少、地域社会の脆弱化など社会構造の変化の中、年齢や性別、障がいの有無を問わず、住み慣れた地域で自分らしい生活が出来る地域共生社会の実現に向けた国のモデル事業である、我が事・丸ごとの地域づくり推進事業を平成 29 年 7 月より市から委託を受け、地域にお住まいの皆さんが主体的に地域の課題に気づき (我が事)、課題解決に向けて地域や専門職が一丸となり、課題解決に取り組む (丸ごと) 体制の構築への支援を行いました。

また、平成 30 年 4 月より、生活や福祉全般に関する相談窓口「生活・福祉丸ごと相談」を社協事務所 (吉井・浮羽) の 2 か所に設置し、相談対応および関係機関との連絡調整、各種支援を行いました。

なお、本事業は国のモデル事業として次年度も事業が継続となりましたが、本格的な事業化に向けて、政策動向が変化しており、事業の内容についても変わってきています。今後の動向を注視しながら、次年度以降の事業を実施していきます。

### (1) 福祉小座談会の実施

行政区の役員 (区長、分館長、福祉委員、民生委員等) の皆様と地域での悩みごと、困りごとを持っておられる方の支援について、一緒に話し合いを行う福祉小座談会を開催しました。

地 区	開催区/行政区	実 施 区 名
御 幸	25/28	朝田原/御幸通/千足 3 丁目/千足 4 丁目/浮羽/東浮羽/千足新町/西町/東町 旭町/宮本/本町/隈の上/川原町/今川通/千足 5 丁目/大崎/小坂/中町 上流川/下流川/千足 2 丁目/一の瀬新町/松本/吉江
大 石	14/18	古川村/中鶴/西の 2/糸丸/西の 5/下の丁/祇園町/川端/温泉/西の 3 西の 1/西の 4/東の 4/東の 5
山 春	14/17	三春原/川箆石/保木/東長瀬/北原/大野原/原口/荒瀬/畑中/下組/上組 吉広/古賀/西長瀬
新 川	8/8	栗木野/内ヶ原/本村/探野/つづら/尾谷/分田/鹿狩
小 塩	1/4	小塩 4 (白土)
福 富	11/15	西福益/東福益/八竜/東屋形/東延寿寺/安富/蓮町/西延寿寺/東屋部 西屋部/竹重
千 年	2/20	上宮田/若宮
江 南	10/19	三牟田/末石/上古賀/下菅/稲崎/富光小向/太田/高田/岩光/島
合 計		85 行政区

### (2) 福祉会設置推進及び研修会

令和元年 11 月 27 日に福祉会役員・各地区自治協議会 (福祉部門) 役員を対象に、研修会を開催しました。

「子どもの福祉」をテーマに、「子どもたちの育ちのために大人は、地域は、何ができるのか?」と題して、社会福祉法人甘木山学園子ども家庭支援センターあまぎやまセンター長の坂口明夫氏をお迎えし、講演を行っていただきました。

参加者からは、子どもたちへの見守りの重要性を認識できた、地域として子どもたちへ関わりを考えていきたいという感想があり、参加された方々が地域での子どもたちの見守りについて考えるきっかけとなった研修となりました。

なお、福祉会の設置については、今年度の設置はありませんでした。今後も、各地区自治協議会 (福祉部門) などと連携して、福祉会の設置推進と活動支援をおこなっていきます。

#### 【平成 31 年度福祉会研修会】

期日：令和元年 11 月 27 日 (水) 参加者：46 名

内容：講演「子どもたちの育ちのために大人は、地域は、何ができるのか?」

講師：社会福祉法人 甘木山学園 子ども家庭支援センターあまぎやま センター長 坂口 明夫 氏

### (3) 福祉会活動支援・助成

うきは市内に 30 福祉会（40 行政区）がありますが、助成要望書の提出があった 27 福祉会について、助成を行いました。

地区	福祉会名	設立年度	地区	福祉会名	設立年度
大石	古川村区福祉会	平成 12 年度	大石	古川町福祉会	平成 17 年度
山春	保木区福祉会	平成 12 年度	山春	川籠石区福祉会	平成 18 年度
山春	袋野区福祉会	平成 12 年度	御幸	朝田原区福祉会	平成 20 年度
山春	西長瀬区福祉会	平成 12 年度	御幸	中町区福祉会	平成 20 年度
山春	荒瀬・畑中区福祉会	平成 12 年度	御幸	御幸通区福祉会	平成 20 年度
御幸	川原町区福祉会	平成 13 年度	御幸	浮羽区福祉会	平成 21 年度
妹川	檉ヶ平区福祉会	平成 13 年度	大石	西高見（西の1・2・3・5）福祉会	平成 21 年度
御幸	旭町区福祉会	平成 13 年度	大石	西の4区福祉会	平成 22 年度
山春	三春原区福祉会	平成 14 年度	山春	吉広区福祉会	平成 24 年度
大石	東の6区福祉会	平成 15 年度	山春	上組区福祉会	平成 24 年度
大石	中鶴区福祉会	平成 15 年度	山春	下組区福祉会	平成 24 年度
大石	糸丸区福祉会	平成 15 年度	江南	庄園区福祉会	平成 26 年度
山春	大野原区福祉会	平成 16 年度	江南	今泉区福祉会	平成 27 年度
大石	東の4・5区福祉会	平成 17 年度	山春	原口区福祉会	平成 28 年度
大石	東の1・2・3区福祉会	平成 17 年度	江南	今竹区福祉会	平成 28 年度

助成金については、基本助成として 10,000 円を、活動応分助成として実績を審査の上で追加助成をします。また、よりあい開催費については、別途よりあい活動助成を行っておりますので、福祉会活動助成には含まれません。なお、東の6区福祉会、大野原区福祉会、庄園区福祉会は助成要望書の提出がありませんでした。

### (4) 「生活・福祉まるごと相談」窓口の開設および相談支援

平成 30 年 4 月より「生活・福祉丸ごと相談」の窓口を社会福祉協議会吉井・浮羽事務所に設置し、相談支援を行うほか、関係機関等と連携し、相談者の課題解決に向けた各種支援を行いました。相談内容としては、生活に関することが一番多く、「どこに相談していいかわからない」や「こんなことを相談していいのだろうか？」と誰にも相談できずに困りごとを抱えている方が多い傾向にあるようです。今後も生活上の様々な課題を受け止め、解決に向けた支援を行います。

相談件数（延べ件数）	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	吉井	浮羽	吉井	浮羽	吉井	浮羽	吉井	浮羽	吉井	浮羽	吉井	浮羽	吉井	浮羽
来所	2	3	4	2	2	3	3	1	2	0	1	0	1	3
電話	3	0	8	0	10	3	21	3	4	0	4	0	4	0
訪問	9	0	4	0	4	0	14	0	1	0	3	0	8	0
その他（関係機関との調整等）	10	1	7	2	11	4	12	0	1	0	5	0	10	0
合計	24	4	23	4	27	10	50	4	8	0	13	0	23	3
うち新規件数	4		5		6		13		1		3		7	

相談件数（延べ件数）	11月		12月		1月		2月		3月		合計		総計
	吉井	浮羽	吉井	浮羽	吉井	浮羽	吉井	浮羽	吉井	浮羽	吉井	浮羽	
来所	3	4	6	1	4	5	1	1	2	2	31	25	56
電話	9	0	7	0	6	1	7	1	1	0	84	8	92
訪問	2	0	2	0	0	0	2	0	0	0	49	0	49
その他（関係機関との調整）	13	0	8	0	13	1	4	0	2	1	96	9	105
合計	27	4	23	1	23	7	14	2	5	3	260	42	302
うち新規件数	6		8		10		6		3		72		

相談者内訳 (延べ件数)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本人	11	8	11	25	4	5	11	10	8	7	4	4	108
家族	5	7	7	4	0	2	3	3	3	2	7	2	45
地域の関係者	4	2	2	12	2	2	7	8	8	6	4	0	57
専門機関	11	11	19	13	2	4	6	10	6	15	2	2	101
その他	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4
合計	32	28	40	56	8	13	27	31	25	30	17	8	315

※相談に複数の関係者が同席している場合があり、それぞれ1人としてカウントしている。

相談内容 (延べ件数)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
高齢者に関すること	15	9	20	8	1	8	7	13	7	8	14	6	116
障がい者に関すること	4	3	0	8	2	0	5	1	7	17	2	0	49
子どもに関すること	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活困窮に関すること	9	15	11	17	2	5	10	13	4	1	0	3	90
住まいに関すること	9	0	15	10	0	3	0	0	1	3	1	0	42
生活に関すること	24	22	33	47	8	6	23	31	24	27	16	8	269
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	61	49	79	90	13	22	45	58	43	56	33	17	566

※1件の相談で相談内容が複数あったものはそれぞれカウントしている。

支援内容 (延べ件数)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談対応	17	15	19	36	6	7	16	18	16	15	13	5	183
関係機関との調整	12	12	17	22	3	5	9	17	8	16	6	3	130
援護物品の提供	1	2	1	5	1	1	1	0	1	1	0	1	15
居宅の清掃	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
情報提供	3	5	9	7	1	3	6	4	2	15	4	2	61
その他	2	0	0	2	0	1	0	1	1	0	0	0	7
合計	37	34	46	72	11	17	32	40	28	47	23	11	398

※1件の相談で支援内容が複数あったものはそれぞれカウントしている。

#### (5) 民生委員・福祉委員懇談会への助成

地域における福祉活動の推進役である民生委員活動の推進を図るため、地域の福祉委員等との情報交換、連携を図ることを目的とした地区懇談会の開催に対して助成を行いました。

助成実施行政区：58行政区（吉井：22行政区 浮羽：36行政区）

参加者：169名（民生委員・福祉委員・区長・分館長・ボランティア等）

#### 6. たすけあい献血推進事業

うきは市が実施する年頭献血への職員派遣及び本会広報誌にて広報啓発活動を行うなど、献血事業への協力を行いました。

##### ①年頭たすけあい献血への協力

期間：令和2年1月3日～1月4日（市内7箇所） 延職員数：10名

#### 7. 移送サービス支援事業（市補助事業）

会員制の移送支援グループ「ハンディ移送サービスうきは」に、社協公用車を貸与し、移送サービスの支援を実施しました。通院の送迎が主ですが、通院の帰りに買い物へ行く場合もあります。

送迎用の車輛は、軽シートアップ車、軽車イス対応車から選択することができます。なお、どの車輛も車椅子を折りたたんで運ぶことができますが、軽車イス対応車については、車椅子に乗ったままの移送が可能です。（利用無料、活動協力費を社協助成／助成額 313,750円）

【ハンディ移送サービス利用状況】 協力会員 13名、登録会員 35名

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用者数		18	16	12	18	11	16	14	14	14	13	15	13	174	
内訳	歩行が困難な高齢者	独居高齢者	13	11	7	11	7	12	9	9	11	10	12	10	122
		高齢者世帯	3	3	4	6	3	3	4	5	3	2	3	2	41
		その他	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	4
	障がい者	身体障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		視覚障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		知的障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		難病・虚弱	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	7
移送件数		27	24	19	23	18	20	23	24	20	18	18	21	255	
内容	通院送迎	27	24	19	23	18	20	23	24	20	18	18	21	255	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
利用時間（時間）		63.5	62.5	49	61	46.5	48.5	53.5	58.5	43	44	48	49.5	627.5	
走行距離（km）		569	470	404	438	367	441	486	572	360	369	362	525	5,363	

《相談支援係》

1. 生活困窮者自立支援事業（市受託事業）

平成 27 年 4 月に「生活困窮者自立支援法」が施行され、全国的に事業が実施されてきました。

本会でも、働きたくても働けない、住むところがない等といった様々な相談をお受けし、一人ひとりの状況に合わせた支援プランを作成し、専門の支援者が相談者に寄り添いながら、他の専門機関と連携して、課題の解決に向けた支援を行いました。

この事業は、これまでの高齢者や障がい者といったカテゴリーごとの福祉制度と違い、失業者、多重債務者、ニート、ひきこもりなど、様々な方への支援や、複合的な課題を抱え、これまで制度の狭間に置かれてきた方々への支援を行う事業となっています。本会でも市の委託を受けて、自立相談支援事業、個別支援計画策定、就労準備支援事業、家計改善支援事業、子どもの学習・生活支援事業を実施しました。

(1) 自立相談支援事業

生活困窮問題についての相談をお受けして、解決策を検討しました。相談内容は以下の通りで、非常に多岐にわたった内容となっています。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談所開設日数	21	19	20	22	21	19	21	20	20	19	18	21	241
相談対応者数	25	22	19	28	18	19	23	15	13	11	11	18	222
うち保護受給者数	5	3	2	6	2	3	5	3	3	3	1	5	41
相談対応総数（訪問含）	70	60	40	47	39	31	40	21	24	23	18	28	441
新規相談者数	4	5	3	4	1	1	2	1	3	1	1	5	31

	内 容
相談内容上位 1 位	心身関係相談
相談内容上位 2 位	生活困窮相談
相談内容上位 3 位	就労準備関係相談

①個別支援計画策定

生活困窮状態から脱却するために、本人の意思を尊重しながら自立支援に向けた計画を策定し、利用者はこのプランに基づいた訓練や学習支援などを受けています。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個別支援計画策定件数	2	1	2	1	0	0	1	0	0	0	0	3	10
うち保護受給者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
現実実施計画累計数	20	21	23	24	24	24	25	25	22	22	22	25	277

※個別支援計画策定件数には、新規および更新の件数含む。

(2) 就労準備支援事業【内職シェアステーションCococonne（こここんね）開設状況】

就労準備支援事業として、うきは市総合福祉センター内に内職シェアステーションCococonneを設置し、2種類の内職作業を提供しながら、就労に向けての訓練や他人とのコミュニケーションの訓練、また社会参加を促すようなグループ活動などを実施しました。また、内職受注先である長尾製麺株式会社のご好意により、袋詰めしたラーメン・そばを「自立ラーメンまえむき」「自立そばあとおし」としてパッケージ化し、販売させていただきました。この販売収益が作業者の安定した収入と就労へのモチベーションへと繋がっています。

〔通所者工賃〕 H31.4月～R2.3月 一人平均62,858円/年

〔内職受注先〕

事業所名	所在地	作業内容
株式会社 熊谷ゴム	久留米市田主丸	ゴム製品のバリ取り
長尾製麺 株式会社	うきは市吉井町	ラーメンの袋詰め

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日数	21	19	20	22	21	19	21	20	20	19	18	21	241
通所者数	20	17	19	22	19	22	18	15	17	14	12	14	209
延べ人数	204	198	203	243	211	199	193	162	141	145	131	160	2,190
うち保護受給者数	4	4	5	7	7	6	6	6	3	4	3	3	58
うち保護受給者延べ人数	45	53	61	98	86	77	51	44	44	32	27	25	643
平均利用	9.7	10.4	10.2	11.0	10.0	10.5	9.2	8.1	7.1	7.6	7.3	7.6	
受注事業所件数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	

(3) 家計改善支援事業

家計改善支援事業では、家計状況の「見える化」と根本的な課題を把握し、相談者が自ら家計管理できるように、相談支援、関係機関へのつなぎ等を行い、生活再生を支援しました。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
家計に係る相談件数	2	3	1	1	2	2	1	2	1	2	2	2	21
うち事業対象者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うち生活保護に繋いだ件数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

(4) 子どもの学習・生活支援事業

生活保護世帯・生活困窮している世帯の中学生を対象とした学習支援を市内2ヶ所で展開し、居場所の確保、学習の場の提供、進学・進路のアドバイス、年齢の近い社会人・大学生ボランティアの協力を得た将来的なモデル提示等を積極的に展開し、子どもたち目線の自立に向けた支援を実施しました。

また、当事業においては近隣大学である久留米大学や市内中学校、行政機関と連携し、幅広いネットワークの中で柔軟に子どもたちの支援に努めました。

【対応人数】

	吉井会場	浮羽会場	合計
実人数	12名	16名	28名

※3年生13名(1名両会場利用)、2年生9名、  
1年生6名

【利用者数】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
吉井会場の開設日数	4	4	5	5	3	4	5	4	4	5	4	4	51
浮羽会場の開設日数	4	4	4	4	1	4	4	5	4	4	3	4	45
合計	8	8	9	9	4	8	9	9	8	9	7	8	96
(吉井)利用者数	3	6	6	5	7	7	9	8	9	9	10	11	90
(浮羽)利用者数	12	15	15	16	12	16	16	16	16	15	15	14	178
合計	15	21	21	21	19	23	25	24	25	24	25	25	268

【進路実績】

進 学 先	
福岡県立高等学校	9名合格・進学
私立高等学校	4名合格・進学
3年生13名全員が進学先決定	

2. 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業（市受託事業））

うきは市より委託を受け、福祉サービス利用援助事業を実施し、利用者の日常生活の自立を支援しました。今年度においては、車いすで生活されている方や計画的な支払いが難しい方等、様々な理由で出金や支払い等の支援が必要な方が契約をされました。なかには、金銭管理だけにとどまらず、生活全般の支援が必要な方も多く、よりきめの細かい対応が必要となっています。

【契約締結審査会】

回数	期 日	会 場	審査対象者数	出席者
第1回	R1.9.2	うきは市総合福祉センター	2名	委員6名
第2回	R2.1.28	うきは市総合福祉センター	3名	委員7名

【相談経路】[利用者（契約者・試行利用者・状況観察者）実人員46名]

本人	2	親族	5	民生委員・児童委員	2
区長、地域住民	1	医療機関	4	特別支援学校	1
入所施設	2	介護支援専門員	6	障害者相談支援事業所	9
うきは市福祉事務所福祉係	1	うきは市福祉事務所保護係	9	うきは市保健課	2
うきは市税務課	1	保健福祉環境事務所	1	他市町村社協	1
地域福祉活動 コーディネーター	1	合 計			48

【契約者数】

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	高齢者	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
	身体障がい者	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4
	知的障がい者	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
	精神障がい者	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4
	その他	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5
試行利用契約		2	2	2	2	2	2	3	2	2	0	0	0
状況観察		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		44	44	44	44	44	45	46	45	45	44	45	45

【訪問、活動回数】

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	高齢者	80	55	54	64	63	62	72	45	56	55	49	62	717
	身体障がい者	15	15	12	16	16	12	13	18	19	18	17	15	186
	知的障がい者	123	118	112	112	109	122	137	132	119	106	121	120	1,431
	精神障がい者	43	34	35	28	28	30	39	34	39	35	29	38	412
	その他	34	31	33	35	34	32	42	37	33	40	30	44	425
試行利用契約		17	17	11	9	12	13	22	14	19	0	0	0	134
状況観察		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		312	270	257	264	262	271	325	280	285	254	246	279	3,305



【その他】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
その他権利擁護に関する相談	6	3	2	3	3	0	2	3	2	2	1	2	29
新規契約者	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	0	4
契約終了者	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	2	5

認知症高齢者や障がい者等要支援者に対する悪質業者による訪問販売への対応（行政、地域包括支援センター等関係機関との連絡調整）など、本サービスの利用に結びつかない事例でも、随時相談に応じると共に、必要に応じて成年後見制度の紹介、申立てに繋げるなど対応しました。

契約事項	サービス内容
福祉サービス利用援助	福祉サービス利用についての相談、情報提供、利用料金支払い代行等
日常的金銭管理	公共料金等の支払い代行、預貯金の出し入れ支援等
書類等預かりサービス	日常的な金銭管理に使用する預金通帳や印鑑、年金証書、契約書等の預かり

【生活支援員の活動について】

地域住民の中から生活支援員を養成し、日常生活に必要な生活費等の受渡しのみならず、生活状況の確認や心配ごとの相談を受けるなど、利用者に合わせた支援を行っています。今年度においては、7名の生活支援員登録者のうち、6名の方にご協力いただきました。

<福祉サービス利用援助事業>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動回数	14	14	14	14	10	8	13	12	11	10	9	9	138

<成年後見事業>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動回数	4	2	3	5	3	5	3	4	4	3	3	5	44

### 3. 成年後見事業

成年後見事業では、本会が家庭裁判所より成年後見人を受任し、認知症高齢者や知的障がい者及び精神障がい者など、判断能力が不十分な方の財産管理、身上監護を行うことで、その方の権利を擁護し、地域で安心して生活できるよう支援を行います。

今年度は、受任している2名の方の困りごとや、生活上の不安解消等の支援を行うと共に、財産管理、身上監護、権利擁護に努めました。また、連動する福祉サービス利用援助事業の利用者の中で、今後契約時より認知症等の症状が進行し、事業対象の枠を超えるようなケースについては、成年後見制度に移行するなど、適切な支援が継続できるよう検討していきます。

#### (1) 法人後見審査会の開催

今年度は、市長申立てによる成年後見の申立て案件があり、受任に関する審査を行うために法人後見審査会を開催しました。審査の結果、受任には至りませんでした。

期 日	会 場	審査対象者	出席者
R1.10.21	うきは市総合福祉センター	1名	委員5名

※法人後見審査会の構成員・・・行政、医師、司法書士、民生委員等

#### (2) 法人後見受任状況

No.	性別	類型	症状	審判を受けた年	申立人	ご本人の居住	利用経緯等
1	女性	後見	知的障がい	H 28 年度	市長	在宅→施設	福祉事務所福祉係
2	女性	後見	知的障がい	H 29 年度	市長	在宅	福祉サービス利用援助事業利用者

### (3) 市民後見推進事業（市受託事業）

#### ① 成年後見制度普及・啓発講座

成年後見制度、市民後見普及・啓発講座を開催し、成年後見制度や市民後見人の必要性について市民に広く啓発し、市民後見人を確保できるように推進を図りました。

	期 日	内 容	参加者数
1	R1.11.21	「元気なうちにできること～相続・遺言・任意後見～」 講師：弁護士法人 翼・篠木法律事務所 弁護士 篠木 潔 氏	25 名
2	R1.11.28	「成年後見制度ってなに？」 講師：一般社団法人 成年後見センターいそどり 代表理事 池田 将樹 氏	22 名

会場：うきは市総合福祉センター

#### ② 市民後見人フォローアップ研修

	期 日	内 容	講師・会場	参加者数
1	R1.9.24	成年後見制度についての振り返り (うきは市総合福祉センター)	弓・柴尾法律事務所 弁護士 柴尾 知成 氏	7 名
	R1.10.1	後見業務の流れと後見活動について (うきは市総合福祉センター)	福岡県社会福祉士会 ばあとな福岡副委員長 徳淵 義信 氏	6 名
2	R2.2.10	先駆的機関への視察研修 (大牟田市成年後見センター) 成年後見センターの役割、市民後見人の活動と成年 後見センターとの連携について	社会福祉法人 大牟田市社会福祉協議会 大牟田市成年後見センター	7 名

市民後見人においては、平成 28・29 年度の市民後見人養成講座【基礎編】・【実務編】受講者のうち、市民後見人登録者は計 15 名となっています。登録者には社協が実施している福祉サービス利用援助事業（市受託事業）の生活支援員として活動していただきながら、経験を積んだのちに適任者に市民後見人として、活動を依頼することを想定しています。

今年度も前年度に引き続き、フォローアップ研修を開催し、成年後見制度や後見活動についての理解を深めました。また、成年後見制度・市民後見普及啓発講座を開催し、成年後見制度や市民後見人の役割や必要性について市民に広く啓発し、推進を図りました。なお、令和 2 年 3 月 5 日（木）、12 日（木）に開催を予定していましたが、第 3 回市民後見人フォローアップ研修につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止しました。

## 4. うきは市障害者相談支援センター（市受託事業）

障害者相談支援事業では、障がい者（児）のさまざまな相談に応じています。今年度は、50 代の引きこもった障がい者の方に対して、80 代の親御さん方からの相談が多くありました。（8050 問題）今まで全く福祉サービスを利用していなかった方に対して、関係者、家族と連携しながら施設入所やサービス利用に至るまでの支援を行いました。

今後も他の部門との連携を行いながら、様々な生活上の相談に対して利用者の方により添いながら支援を行っていきます。

### (1) 障害者相談支援事業

市からの受託事業として、障がい者の様々な相談に応じると共に、障害者総合支援法に基づく福祉サービス利用に係る障害支援区分認定調査及び障害支援区分認定審査会へ参加しました。

#### 【相談件数・相談内容】

		身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者	関係機関	その他	合 計
相 談 方 法	電 話	162	560	500	3,486	482	5,190
	来 所	63	161	161	960	79	1,424
	訪 問	136	423	135	535	96	1,325
	メー ル	0	0	2	27	21	50
合 計		361	1,144	798	5,008	678	7,989

相談内容内訳	①福祉サービスの利用	154	322	229	2,235	323	3,263
	②障がいや病状の理解	95	231	170	864	108	1,468
	③健康・医療	22	126	76	412	53	689
	④不安の解消・情緒安定	8	81	87	62	7	245
	⑤保育・教育	0	21	6	115	21	163
	⑥家族関係・人間関係	12	46	64	178	98	398
	⑦家計・経済	5	48	42	239	8	342
	⑧生活技術	14	141	19	265	13	452
	⑨就労	13	50	47	168	9	287
	⑩社会参加・余暇活動	1	10	24	121	5	161
	⑪権利擁護	0	7	11	46	2	66
	⑫その他	37	61	23	303	31	455
	合計	361	1,144	798	5,008	678	7,989

### 【 会 議 等 】

障害支援区分認定調査件数	75 件
障害支援区分認定審査会参加	8 回
地域障害者協議会参加	1 回
地域障害者協議会 事務局会議参加	5 回
地域障害者協議会 児童部会参加	4 回
地域障害者協議会 就労支援部会参加	3 回
地域障害者協議会 計画相談部会参加	3 回
地域障害者協議会地域生活支援拠点会議参加	3 回

## (2) 障害者社会参加促進事業

うきは市総合福祉センターにおいて、障がい者の交流・相談の拠点として障害者地域支援センター「ほっとスペースうきは」を運営しました。センターでの活動に際しては、利用者の皆さんに登録を頂き、利用していただいています。

また、ほっとスペースうきはでの行事開催をとおして、参加者同士の交流もできていますので、利用者のご希望を伺いながら行事等を企画し、障がい者の交流・相談の拠点としての機能を充実していきます。

### 【ほっとスペースうきは利用実績】

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数		18	59	24	18	21	32	19	14	20	32	13	15	285
内訳	身体障がい者	2	3	2	3	3	5	3	3	4	5	3	3	39
	知的障がい者	3	18	6	3	3	10	5	3	6	3	2	5	67
	精神障がい者	8	7	11	6	7	10	5	4	6	4	5	4	77
	障がい児	1	0	0	0	1	0	0	0	0	4	0	0	6
	その他	4	8	5	6	6	7	6	4	4	3	3	3	59
関係者・家族		0	23	0	0	1	0	0	0	0	13	0	0	37
利用者延人数		189	226	201	241	195	203	188	156	166	153	128	165	2,211
内訳	身体障がい者	25	26	24	34	31	17	38	33	42	39	38	50	397
	知的障がい者	33	47	47	52	35	55	56	52	55	32	29	38	531
	精神障がい者	83	62	57	57	47	51	47	38	36	34	36	45	593
	障がい児	6	0	0	0	1	0	0	0	0	4	0	0	11
	その他	42	68	73	98	80	80	47	33	33	31	25	32	642
関係者・家族		0	23	0	0	1	0	0	0	0	13	0	0	37
新規登録者		21	2	2	5	1	9	0	0	2	1	1	0	44

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内	身体障がい者	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	4
	知的障がい者	5	1	1	1	1	4	0	0	2	0	0	15
	精神障がい者	11	0	1	1	0	3	0	0	0	0	1	17
訳	障がい児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	3	1	0	2	0	1	0	0	0	1	0	8
	関係者・家族	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
見学者数	0	0	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35
内	身体障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	知的障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	精神障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訳	障がい児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	関係者・家族	0	0	35	0	0	0	0	0	0	0	0	35

■ほっとスペースうきはでは次の行事を行いました。

令和元年 6月14日：お菓子づくり 9月27日：交流バスハイク

12月19日：クリスマス交流会

令和2年 1月25日：チャレンジド親の会交流会

### (3) 点字・声の広報等発行事業

市内の視覚障がい者の方へ、朗読ボランティア（声のグループうさぎ、朗読ボランティアともしび会）の協力により、広報うきは、ふくしのかかわら版を定期的に、また必要に応じて身近な情報をテープに録音し届けました。（利用者：5名）

また、市内の点字を利用している視覚障がい者の方へ、点訳ボランティア点筆の会の協力により、身近な情報を点訳し届けました。（利用者：7名）

### (4) 指定相談支援事業

障がい者（児）等からの相談に応じ、サービス事業者、施設、病院など関係機関と連絡調整等を行い、地域で安定した生活ができるよう支援計画等を作成しました。

障がい児の計画作成、モニタリング件数については増加しています。今後も障がい者が継続してサービスを利用していく中での満足度や、新たな生活ニーズを分析・点検していきます。

#### ①指定特定相談支援事業（市指定）：サービス等利用計画の作成

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画作成件数	6	2	4	1	3	1	3	2	4	1	2	2	31
モニタリング件数	2	6	6	6	4	6	2	5	7	6	4	6	60

#### ②障害児相談支援事業（市指定）：障がい児通所サービス利用計画の作成

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画作成件数	3	1	5	2	0	1	0	0	0	0	0	2	14
モニタリング件数	0	1	0	0	2	0	3	1	6	0	0	0	13

#### ③指定一般相談支援事業（県指定／平成25年10月1日）：地域移行支援、地域定着支援の実施

・計画策定なし

## 5. 不登校・ひきこもり対策相談支援事業（市受託事業）

市の受託事業として、専門相談員を配置し、不登校の子どもたち、ひきこもり状況にある方、その家族を対象に、相談に応じると共に、本人の同意を得た上での訪問活動、連携機関との情報共有、通年セミナーの開催等を行いながら包括的な支援を展開するなど、より本人の希望する道へと導けるよう支援を行いました。

また、相談・交流スペースを設置し、午後をフリースペースとして開放、専用相談ダイヤルの設置、メール・インターネットでの相談開始、家族会の開催、当事者の会（Switch：スイッチ）の活動支援等を積極的に展開し

ました。特に家族支援の観点から、「うきは市不登校・ひきこもりを考える会」と共催で家族会を延べ11回開催し、69名の参加がありました。

【支援実人数と相談・訪問支援件数】

	不登校	ひきこもり	合計
支援実人数	25	25	50
支援方法	不登校	ひきこもり	合計
相談支援（電話・メール・来所） / 回	632	624	1,256
訪問支援（自宅訪問） / 回	101	74	175
合計	733	698	1,431

【支援状況】

経過（不登校）	人数	経過（ひきこもり）	人数
進学決定	5	就労開始・継続	7
登校開始・継続	6	フリースペース利用	0
就労開始・継続	1	就労支援	1
就労支援	2	内職シェアステーション利用	4
他機関へ移管	0	ひきこもり気味	6
不登校気味	6	完全ひきこもり	6
完全不登校	5	他機関へと移行、終了	1
合計	25	合計	25

【フリースペース利用状況・回数】

利用実人数	人数
不登校	7
ひきこもり	4
家族・関係機関	92

利用者	回数
不登校	353
ひきこもり	420
家族・関係機関	199

◆不登校・ひきこもりに関するセミナーの開催

期 日	会 場	参加者数	内 容
R1.7.27	うきは市総合福祉センター	18名	子どもたちと育む「愛着形成」フォーラム ～幼少期から考える子どもたちとの向き合い～ 講師：Mamilia 代表 レイナ 氏（臨床心理士・公認心理師）

■家族会・当事者の会支援

①家族会「みつばちの会」の支援

毎月第3水曜日19時から定例会を開催。参加者は毎月5名程度。コーディネーターに長阿彌幹生氏（教育文化研究所代表）をお呼びし、家族から見つめる不登校・ひきこもりについて考えました。

②当事者の会「Switch(スイッチ)」の支援

平成24年度からフリースペースを利用している当事者により、自分たちで支え合う団体（セルフヘルプグループ）として活動を行いたいとの声により、当事者の会 Switch が設立。メンバーでの交流活動等を行いました。今後は当事者間の交流等を進め、個々人の目標を見つめ直す機会にもしていきます。

6. 子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業（市受託事業）

平成28年度にうきは市における子どもの孤立や貧困状況についての実態調査を基に策定された、「うきは市子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業実施計画」に基づき、経済的に困窮している世帯やひとり親世帯、生活保護・生活困窮世帯の子どもたち（平成30年度より小学生全学年対象）への学習機会の確保や生活習慣の定着などを、包括的に支援する居場所を提供すると共に、子ども達が生活する家庭や地域に対して、将来に向けた自立への支援や環境作りを行いました。

居場所では、学習習慣の定着のために宿題の実施を徹底すると共に、遊びを通じた精神的なより深い活動を行いました。特に自立に向けた取組としては、調理実習を月1回程度開催し、その際には買い物から調理する事で、子どもたちに金銭感覚を身に付けると共に、主体的に調理行程を考え、実施していくなど、計画性を身に付けています。また、この居場所で身に付けたスキルを家庭や学校で発揮できるように褒めて伸ばし、自己肯定感を高める支援環境を提供しました。

今後も子どもたちの支援環境をさらに整えると共に、保護者の相談も充分に聞き取りながら、良好な関係を築き、それぞれの世帯でのお困りごとなどを伺い、学校・家庭と社会資源を繋ぎ、子どもの支援から世帯の一体的な支援へと結び付けていきます。

### (1) 利用者実数

利用者	実人数
小学1年生	3名
小学2年生	1名
小学3年生	3名
小学4年生	4名
小学5年生	2名
小学6年生	1名
中学・高校生	0名
保護者	16名
合計	30名

### (2) 相談対応・連携件数

対象者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
子ども	174	165	182	194	163	178	186	170	173	173	124	142	2,024
保護者	102	89	87	102	88	94	97	98	102	105	67	52	1,083
支援関係者	20	6	11	13	8	18	12	8	6	20	6	7	135
合計	296	260	280	309	259	290	295	276	281	298	197	201	3,242

### (3) 支援関係者との連携

○うきは市子どもの未来応援地域ネットワーク協議会 開催（令和2年2月27日）

### (4) フードバンク支援

複数の市内事業所にご賛同いただき、市内在住の子どもたちを食から支援していく視点と、食品ロスの観点より、パン・ケーキ・焼き鳥・たこ焼き等の食品を不定期でご提供いただいています。提供いただいた食品は子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業だけではなく、生活困窮者自立支援事業における学習支援にも有効活用しています。

福岡市で活動しているNPO法人フードバンク福岡と同意書を交わし、長期保存可能な食料や清涼飲料水、お菓子などを不定期でご提供頂く事や、セブンイレブン・ジャパンから生活物品や食料品の提供を頂くなど、市内外問わず幅広いフードバンクのネットワークと連動し、市内支援活動に活かしています。

## 7. 高齢者等住まい・生活支援事業（市受託事業）

### (1) 住まいと住まい方に関する相談

市の委託を受け、地域包括ケアシステムの基礎となる「住まい」と「住まい方」を支援する事業として、空き家を活用した住まいに関する相談支援の拠点「つどいの場かわはらさんち」（吉井町1097番地1）を整備し、高齢者等の住み替えや住宅改修等の相談に応じました。平成27年度の事業開始からの住み替えに関する実相談者数は62件です。その他の相談としては、介護保険サービスの相談、自宅の老朽化等、相談が多岐にわたっています。ゴミ屋敷のように様々な課題が重複しているような相談もあり、関係機関と連携し対応しました。また、相談支援の拠点につどいの場を併設しているため、ちょっとした心配ごとや介護ストレス、体調不良からくる不安を抱えている来所相談も増え、「まちの保健室」的な役割も大きくなってきています。

#### 【住まいと住まい方に関する相談実績】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	内初回相談 (再掲)
電話相談	9	9	11	18	2	5	1	3	5	3	6	4	76	10
来所面談	19	9	14	9	6	3	5	5	11	7	6	6	100	10
訪問面談	3	1	2	5	0	0	1	0	1	0	0	0	14	0
文書での相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	31	19	27	32	8	8	7	8	17	10	12	10	189	20

【住まいと住まい方に関する相談対応実績】

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
関係機関との調整	0	1	5	13	0	1	0	1	0	0	2	0	23
住まいの斡旋・マッチング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活支援サービスの調整等	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
入居後居住支援	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合 計	0	1	5	14	0	1	1	1	0	0	2	0	25

【住まいと住まい方に関する相談内容詳細】 ※1件の相談で2つの相談があれば2件でカウント

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
住み替えに関する相談	9	3	3	1	1	1	0	1	1	0	0	0	20
転宅費用等に関する相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
住宅改修に関する相談	1	1	6	3	0	3	1	0	0	0	0	0	15
その他	21	14	13	14	7	3	5	6	16	10	10	10	129
合 計	31	18	22	18	8	7	6	7	17	10	10	10	164

※その他の主な相談

- ・心配ごとについて
- ・家片付けについて
- ・かわはらさんちの利用について
- ・仕事について
- ・集いの場について
- ・体調について
- ・障がい者サービスについて
- ・友達関係について
- ・介護について
- ・就職について
- ・自動車、自転車の運転について
- ・家族関係について
- ・物忘れについて
- ・家財の処分について

(2) つどいの場かわはらさんち

相談支援の拠点「つどいの場かわはらさんち」は、高齢者等のふれあい交流の場として開放し、うきは市の出前講座の活用や、地域住民、ボランティアのご協力を得て、イベント等も行いました。

【かわはらさんち利用状況】

年齢層	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
75歳以上	120	74	105	86	67	95	116	92	108	84	104	56	1,107
65歳～74歳	8	1	3	3	3	3	2	39	20	1	8	5	96
15歳～64歳	14	10	22	10	10	10	11	8	15	6	5	4	125
15歳未満	0	0	0	33	2	1	0	0	4	0	0	0	40
合 計	142	85	130	132	82	109	129	139	147	91	117	65	1,368
見学者（別掲）	0	0	0	0	0	0	0	33	0	0	0	0	33

(3) 居住支援協議会への参画

うきは市では住宅確保要配慮者（低所得者、被災者、高齢者、障がい者、子どもを育成する家庭その他住宅の確保に特に配慮を要する者）の民間賃貸住宅への円滑な入居の促進を図ることを目的に、居住支援協議会の設置が検討され、平成30年12月に設置されました。

今後、高齢者等が住み慣れた地域で最期まで暮らしていけるよう、住まいと生活支援に関わる課題を解決していくために、不動産事業所や関係機関とのネットワークを生かしながら、今後も連携体制を継続しながら住まいの支援を行っていきます。

## 8. 資金貸付事業

低所得者、障がい者又は高齢者世帯等に対して、3種類の資金貸付制度の運用を行い、安定した生活が送れるよう支援しました。資金の貸付にあたっては、民生委員の協力を得るとともに、貸付調査委員会の意見・答申のもとに貸付を行いました。

【貸付調査委員会】

回数	期 日	会 場
第 1 回	R1.5.8	うきは市総合福祉センター
第 2 回	R1.6.3	うきは市総合福祉センター
第 3 回	R2.1.22	うきは市総合福祉センター

【初回相談件数】

相談内容	件 数
生活費等	17 件
教育費	12 件
その他（問い合わせ）	14 件
計	43 件

(1) 生活福祉資金貸付事業（県社協より事務委託）

生活福祉資金貸付事業は、低所得者、障がい者又は高齢者世帯に対し、資金の貸付けと必要な援助指導を行うことにより、経済的自立及び生活意欲の助長を図り、安定した生活が送れるようにすることを目的とした福岡県社協が行う資金貸付制度で、その相談窓口として申し込みの受付等を行っています。

【貸付状況】

資金種類	31 年度取扱い分	内 31 年度新規
総合支援資金	4 件	0 件
福祉資金	13 件	1 件
緊急小口資金	10 件	0 件
教育支援資金	70 件	8 件
合 計	97 件	9 件

【貸付決定額】

資金種類	決定額
総合支援資金	0 円
福祉資金	216,000 円
緊急小口資金	0 円
教育支援資金	15,092,000 円
合 計	15,308,000 円

(2) 援護資金貸付事業

うきは市社協独自の貸付制度で、うきは市に居住される方が一時的に生活費などに困窮された場合に貸付を行いました。

【援護資金貸付状況】

区 分	年度当初償還残額	件数	年度内貸付	件数	年度内償還額	年度末償還残額	件数
前年度以前貸付	0 円	0 件			0 円	0 円	0 件
31 年度内貸付			150,000 円	5 件	150,000 円	0 円	0 件
合 計	0 円	0 件	150,000 円	5 件	150,000 円	0 円	0 件

(3) 育英奨学資金貸付事業

社協独自の育英奨学金として、低所得世帯の生徒に対し高等学校への修学資金を貸し付けていますが、今年度は申し込みはありませんでした。

【育英奨学資金貸付状況】

区 分	年度当初償還残額	件数	年度内償還額	年度末償還残額	件数
貸付完了分（猶予分）	1,728,000 円	3 件	576,000 円	1,152,000 円	2 件
25-27 年度貸付完了分	2,553,600 円	7 件	1,002,000 円	1,551,600 円	6 件
合 計	4,281,600 円	10 件	1,578,000 円	2,703,600 円	8 件



### Ⅲ 在宅福祉サービス事業部門

#### 1. 居宅計画支援係（うきは市ケアプランサービスセンター）

今年度の年間利用者数は、延べ人数で対前年度比、要介護 34 名、要支援者 29 名、介護報酬は 3.8% の増となりました。要介護者については新規利用者 28 名に対して、死亡 8 名、入院 19 名、施設入所者 4 名でした。入院後に 6 名が退院され、再びサービスを利用しながら在宅で過ごされています。要支援者については、新規利用者は 3 名でした。

元々、採算が取りにくい事業ではありますが、介護保険の要の事業であり、令和 2 年度も事業が継続できるような病院や民生委員など、関係機関・団体への働きかけを強化し、利用者の確保を図っていきます。

- 営業日：月～金曜日（但し、国民の休日、12/29～1/3 を除く）
- サービス提供時間：8：30～17：15（但し、24 時間連絡可能な体制を確保）
- 職員体制：介護支援専門員 3 名

##### (1) 居宅介護支援事業：要介護認定者のケアプラン作成

###### 【居宅サービス計画作成実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
作成件数	76	74	71	66	70	66	69	71	72	69	69	71	844

##### (2) 介護予防支援事業（浮羽地域包括支援センター受託事業）：要支援認定者の予防プラン作成

###### 【介護予防サービス計画作成実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
作成件数	17	17	15	17	17	17	19	18	18	14	15	15	199

#### 2. 訪問介護支援係（うきは市ヘルパーステーション）

訪問介護事業では、介護度に応じて訪問介護、相当サービス、緩和型サービス、また介護保険に該当しない場合には暮らし安心サービスを提供し、ご利用者の在宅生活の自立を支える対応を行いました。この事業は、報酬単価が低いこと、訪問介護員が集まらないことなどから他事業所が事業閉鎖する中、本会ほうきは市内の在宅サービスの低下を防ぐためにも事業を継続しておりますが、介護人材の確保が今後の大きな課題となっています。

同様に、障がい福祉サービス（居宅介護、同行援護及び移動支援）でも、障がい者の皆さまの在宅生活の自立を支える対応を行っておりますが、こちらも人材の確保が難しい状況にあることから、利用者の希望に添える派遣調整に苦慮している状況があります。

どちらの事業もサービス内容については、利用者の希望や心身状況と支援計画の内容が合致したものとなっているかを精査し、実情に合ったものとなるよう担当者会議等で提案しました。

- 営業日：年中無休（但し、12/1・1/1 を除く）
- 営業時間：8：30～17：15
- サービス提供時間：7：00～21：00
- 職員体制：ホームヘルパー 9 名（内、看護師 1、介護福祉士 6 名）（R 2.3.31 現在）

###### 【新規利用者】

- ・介護保険事業：要介護者 8 名、相当サービス利用者 17 名、緩和型サービス利用者 5 名
- ・障害福祉サービス：居宅介護 1 名
- ・暮らし安心サービス：1 名

##### (1) 介護保険事業

###### ①訪問介護事業：要介護認定者へのヘルパー派遣

###### 【訪問介護事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	25	23	24	25	24	21	22	19	16	12	15	15	241
利用回数	304	248	227	283	243	214	212	200	179	135	142	153	2,540

②相当サービス事業：相当サービス認定者へのヘルパー派遣

【相当サービス事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	28	26	26	30	32	32	33	33	33	32	35	37	377
利用回数	217	160	149	197	180	220	207	206	197	207	218	255	2,413

③緩和型サービス事業：訪問型サービスA認定者へのヘルパー派遣

【訪問型サービスA事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	10	9	9	12	12	12	12	13	12	11	11	10	133
利用回数	40	44	29	48	35	48	56	50	46	40	41	42	519

(2) 障害福祉サービス事業

①居宅介護：障がい者へのヘルパー派遣

【障害者居宅介護事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	17	17	16	17	17	17	17	16	15	16	16	15	196
利用回数	174	181	142	155	147	149	155	139	135	136	135	142	1,790

②同行援護：視覚障がい者のガイドヘルプ

【障害者同行援護事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	2	3	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	31
利用回数	21	23	19	16	13	21	25	25	22	13	22	30	250

(3) 受託事業

①移動支援事業（市受託事業）

障がい者の外出支援（ガイドヘルプ）

【障害者移動支援事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	0	2	1	2	0	2	2	1	2	0	2	0	14
利用回数	0	2	1	2	0	2	2	1	2	0	2	0	14

②ひとり親家庭等日常生活支援事業（市受託事業）

今年度は利用実績なし

③受託居宅介護事業（グループホーム「オリーブ」受託事業）

グループホーム「オリーブ」入居者の受診同行（身体介護）

今年度は利用実績なし

3. 通所介護支援係（うきは市デイサービスセンター）

今年度は通所介護において利用者及び、利用回数減少により、介護報酬は前年比△4.2%となりました。その事由として、長年ご利用いただいている方の入院や死亡のための終了のほか、ご利用者の身体機能・認知機能低下によるご家族の不安や介護負担軽減と、将来的利用想定の入所施設併設の通所介護事業所あるいは、短期入所への利用希望が高くなっており、利用形態が変化していることが挙げられます。

また、介護予防・日常生活総合事業では、利用者数が前年比で相当サービス事業は+4.0%、通所型サービスA（緩和型事業）△37.8%となりました。主な事由として、ご利用者の身体機能・認知機能低下による利用サービスの移行により、緩和型のご利用者が減少したと考えられます。

□営業日：介護予防通所介護、通所介護：月曜日～土曜日（但し、8/14.15、12/31～1/3を除く）

通所型サービスA：火・水・木曜日（但し、8/14.15、12/31～1/3を除く）

□サービス提供時間：通所介護事業：9：15～16：30（時間延長あり）

相当サービス事業：9：30～16：00

緩和型サービス事業（通所型サービスA）：9：30～16：00

□1日の職員体制：職員7.6名（管理者、生活相談員、看護師、介護職員、機能訓練指導員）職員の兼務有

□調理：調理員3名、献立：栄養士1名（兼務職員）

※センター専用調理室で、昼食とおやつを提供

#### 【新規利用者内訳】

・要介護者20名、相当サービス利用者14名、緩和型サービス利用者2名

### （1）通所介護事業

要介護認定者へ個別機能訓練、入浴介護等のサービスを実施し、要介護状態の進行防止に努めました。

#### 【通所介護事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	50	48	48	46	48	44	41	42	43	41	42	42	534
利用回数	577	583	525	536	472	490	480	477	461	433	450	166	5,650

### （2）相当サービス事業

#### 【相当サービス事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	20	19	18	19	19	19	22	23	25	22	21	23	250
利用回数	137	136	113	128	104	119	161	143	144	125	124	144	1,578

### （3）緩和型サービス事業（通所型サービスA）

#### 【通所型サービスA事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	10	10	10	9	8	8	8	8	8	8	6	6	99
利用回数	39	51	40	38	21	31	33	30	27	26	23	20	379

### （4）身体障害者訪問入浴サービス事業（市受託事業）

今年度、身体障害者訪問入浴サービス利用者を1名受け入れましたが、訪問入浴車の老朽化により事業継続が困難になり、本事業は今年度をもって事業終了となります。

#### 【障害者訪問入浴サービス事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	-	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
利用回数	-	-	7	13	12	13	9	8	7	8	7	7	91

## 4. 障害者就労支援係（ワークサポート白鳥の家）

就労移行支援事業では、就労に必要な知識や能力向上の訓練を行い、今年度は1名が一般企業へ就職し、新体系移行後（平成23年10月1日～）21名を就職させることができました。

就労継続支援事業B型では、生産活動における訓練や相談を通じて、日常生活の支援を行いました。

あわせて、地域の皆さまの理解と協力を得るために、休日ショップ営業を2回開催し、地区福祉大会をはじめ、まごころ製品販売会（道の駅うきは、道の駅杷木バサロ）等への出店を行い、施設や商品の周知・啓発を図ることができました。

また、利用者の工賃の増額と安定的な支給ができるよう、パンのルート販売のコースを見直しました。その中で、合瀬耳納トンネルの開通をきっかけに、八女市星野総合保健福祉センターそよかぜでのパン・雑貨販売を開始しました。八女市星野村は、スーパーや商店、パンの販売業者等も少なく、特に交通手段を持たない高齢者等の買い物支援の一助ともなっています。

就労定着支援事業では、就職した利用者の職場定着を図るため、就職先を訪問し職場との連携を図りながら、職場内での課題を把握するとともに、電話や本人来所による相談にも応じるなど、生活面での課題も把握しました。そして、把握した課題解決に向け、企業や関係機関と連携し、必要な支援を行いました。なお、就労定着支援事

業の利用期間を過ぎた利用者についても、白鳥の家にて気軽に相談できる体制を作り対応しています。

今年度は、長年の懸案であった、ワークサポート白鳥の家作業棟（旧労働会館）の改修について、平成30年度福岡県社会福祉施設等施設整備費補助金を受け、令和元年9月より建設工事を進め、令和2年2月10日に竣工式を行いました。竣工後は、新作業棟を活用しながら事業の充実を図りました。

この他、利用者家族に、白鳥の家での訓練や作業内容について理解をしていただき、ご家庭でも利用者の就職や自立への手助けをするきっかけとして活用していただけるよう、ご家族向けの広報誌「白鳥の家だより」を年2回発行しました。

- 開所日： 月～金曜日（但し、国民の休日、12/29～1/3を除く）
- 開所時間： 9時～16時
- 職員体制： 管理者1名、サービス管理責任者1名  
生活支援員1名、職業指導員1名、就労支援員1名（就労移行支援事業）  
生活支援員1名、職業指導員3名、目標工賃達成指導員1名（就労継続支援事業B型）  
就労定着支援員1名（就労定着支援事業）

〔新規利用者〕

- ・就労移行支援事業 3名（内、就労継続支援事業B型より2名、新卒者1名）
- ・就労継続支援事業B型 4名

### （1）就労移行支援事業

- 定員：6名
- 主な訓練・活動（作業）内容：
  - ・就労に必要な知識、能力を向上させるために必要な訓練（面接訓練、履歴書作成訓練）
  - ・生産活動（下請け作業、名刺作成等）
  - ・職場見学・職場実習・トライアル雇用の支援  
（実習先、雇用先の開拓と訪問、公共交通機関を利用した通勤訓練）
  - ・求職活動支援（ハローワークへの登録・求人検索）
  - ・職場定着支援（就職した利用者の職場訪問、相談対応）

【主な訓練、作業内容】

訓練・作業名	訓練・作業内容
業者下請け作業	ピッキング作業（杉工場）/袋詰め作業（Kimmy）等
印刷作業	名刺印刷
自主製品	クラフトかご、入浴剤
スワンショップ	大規模販売会接客等

【職場実習実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実習者数	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	4
実習日数	0	0	0	7	0	8	0	7	0	0	0	8	30

- 実習受入事業所：社会福祉法人うきは市社会福祉協議会、日本精工九州（株）フーズアンドフーズ（株）
- 成果：就労者1名（累計21名）

### （2）就労継続支援事業B型

- 定員：15名
- 主な訓練・活動（作業）内容：
  - ・日常生活に必要な知識、能力を向上させるための訓練（生活習慣、清潔保持）
  - ・就労の機会の提供及び生産活動
  - ・生活相談

【主な訓練、作業内容】

訓練・作業名	訓練・作業内容
アルミ回収作業	ボランティアの方と一緒に回収、市民の方の提供品整理
自主製品の製作販売	牛乳パック再生椅子、小物作り、クスの消臭剤
スワンショップ	日用雑貨品の販売…(株)飛鳥産業、地域の方からの寄付物品を整理し販売
業者下請け作業	農産加工品袋・箱詰め (JA にじ農産加工センター)、板材包装ビニール加工 (堤木材)
パンの家スワンベーカー	パンの製造販売、喫茶ルーム接客
喫茶あひるの子	コーヒー等飲み物、パンの販売、接客

□工賃実績：一人当たりの月額平均工賃 32,290 円 ※県指定計算式による  
(平成 30 年度福岡県工賃平均額 14,643 円)

(3) 就労定着支援事業

□定 員：15 名

□主な支援内容：

- ・ 職場訪問による就労態度・職場状況の確認
- ・ 職場支援担当者と本人の意思疎通を図るための調整
- ・ 生活安定のための家庭訪問および助言
- ・ 本人および職場からの相談対応
- ・ 利用者間の交流を図るための取り組み (交流活動等)
- ・ 職場休業日の居場所支援 (白鳥の家での受け入れ)

(4) ワークサポート白鳥の家の主な行事

期 日	行事内容	期 日	行事内容
H31.4.24	國武庵タケノコ掘り・お食事会	R1.9.28	休日ショップ
H31.4.26	メーデーパン納品	R1.10.11	赤い羽根共同募金 街頭募金
H31.4.30	G W 受入、買い物支援 (ゆめマート)	R1.10.12	まごころ製品販売会 (道の駅うきは)
R1.5.1	就労者家族の見学会 (㈱ファーストタウン)	R1.10.20	御幸地区福祉大会出店
R1.5.1	G W 受入、調理実習 (たこ焼き)	R1.10.26	まごころ製品販売会 (道の駅杷木バサロ)
R1.5.2	G W 受入、外出支援 (道の駅朝倉他)	R1.10.27	大石地区福祉まつり出店
R1.5.5	卒業生のつどい (國武庵タケノコ掘り)	R1.11.2~3	うきはまつり出店
R1.5.13	あいの会お食事会	R1.11.10	山春地区福祉のつどい出店
R1.5.16~17	J A 倉庫へ引っ越し作業	R1.11.25	仲間健康診断
R1.5.16	うきは警察署防犯教室 (就労移行・卒業者)	R1.12.8	人権フェスティバル出店
R1.5.27	みずうみの会ゴキブリ団子づくり	R1.12.9	あいの会お食事会
R1.5.30	避難訓練	R1.12.13	避難訓練・学習会
R1.6.2	プロ野球観戦 (ヤフオクドーム)	R1.12.16	平成 31 年度前期収支報告会
R1.6.8	まごころ製品販売会 (道の駅うきは)・休日ショップ	R1.12.24	J R 乗り方訓練 (うきは駅~田主丸駅)
R1.6.17	平成 30 年度収支報告会	R1.12.25	仲間交流会 (クリスマス会)
R1.7.8	みずうみの会廃油石鹸づくり	R1.12.27	仕事納め
R1.7.9	仲間健康診断	R2.1.6	三社参り・新年会
R1.7.20	第 2 ひじり園七夕祭り出店	R2.1.12	卒業生のつどい (お食事処うきは)
R1.7.26	星野村そよかぜ訪問 (施設外活動)	R2.2.10	新作業棟竣工式・内覧会
R1.8.6	台風のため休所	R2.2.12~14	新作業棟引っ越し作業
R1.8.28	大雨のため休所	R2.2.12	デイサービスセンター交流会
R1.9.2	白壁レディース 21 うきは市 P R 動画撮影	R2.3.19	白鳥の家春祭り
R1.9.13~14	宿泊訓練 (長崎県佐世保市)	R2.3.25	座学「身だしなみについて」(就労移行)

(5) ワークサポート白鳥の家事業実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	
就労移行	利用者数	3	3	4	3	5	4	5	5	3	3	4	45	3.8	
	利用回数	58	57	68	66	65	74	109	65	55	50	48	68	783	65.3
就労継続	利用者数	18	18	19	17	17	18	17	17	17	18	18	17	211	17.6
	利用回数	302	299	330	337	224	292	308	297	301	295	274	322	3,581	298.4
就労定着	利用者数	6	8	9	9	9	9	8	8	8	7	7	7	95	7.9
	支援回数	6	8	9	9	9	9	8	8	8	7	7	7	95	7.9

5. 制度補足サービス

介護保険制度など法定事業の範囲では対応できないサービスについて、利用者や家族、介護支援専門員等の要望に応じ、社協独自のサービス提供を行います。

(1) 暮らし安心サービス（うきは市ヘルパーステーション）

利用者や家族、介護支援専門員等の要望を受けて、介護保険並びに障害福祉サービス事業では対象とならない、通院時の院内介助等の身体介護や入院時の買物などの生活援助サービスを提供し、在宅生活の継続支援を行いました。

□利用者負担／1回当たり

時間	30分未満	30分以上 1時間未満	1時間以上 1時間半未満	1時間半以上 (30分増す毎に)
身体介護	1,000円	2,000円	3,000円	1,000円
生活援助	800円	1,600円	2,400円	800円

【利用実績】 ※実利用者数6名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	1	1	1	3	3	2	3	2	1	1	1	2	21
利用回数	1	2	1	6	7	5	8	4	4	4	4	6	52

(2) 訪問入浴介護事業（うきは市デイサービスセンター）

今年度は利用実績なし。

本事業は、訪問入浴車の老朽化により事業継続が困難になり、今年度をもって事業終了となります。

6. 家族介護者交流事業（市受託事業）

家庭で寝たきりや認知症高齢者を介護している家族の支援を行いました。

①在宅介護者の会「コスモスの会」活動支援助成（助成額：118,172円）

実施日	内容	参加者数
H31.4.12	会計監査 会場/うきは市民センター2階「喫茶あひるの子」	7名
R1.5.13	役員会 会場/うきは市民センター2階「喫茶あひるの子」	9名
R1.5.27	総会、交流会 会場/うきは市民センター2階 第1会議室、「喫茶あひるの子」	15名
R1.6.28	定例会（研修：薬に関する学習会） 会場/かわはらさんち	15名
R1.7.22	定例会（リフレッシュ：親睦会） 会場/白鳥の家	11名
R1.8.23	定例会（研修：オムツの上手な選び方・使い方） 会場/うきは市総合福祉センター2階和室	15名
R1.9.27	定例会（研修：認知症について・上手な付き合い方 *施設見学） 会場/グループホーム浮羽	14名
R1.10.28	定例会（リフレッシュ：森林セラピー） 会場/浮羽町田籠地区	9名

R1.11.23	2019年度家庭介護介助者養成講座 「認知症予防・認知症ケアと救急対応」 主催：福岡県市町村振興協会	5名
R1.11.30	2019年度家庭介護介助者養成講座 「介護を楽にする制度・サービスと介護知識」 主催：福岡県市町村振興協会	4名
R1.12.13	定例会（研修：介護料理教室） 会場 / 御幸コミュニティセンター調理室	9名
R2.1.24	定例会（視察研修会、太宰府天満宮初詣） 視察先 / 福岡市民防災センター	11名
合 計		124名

②うきは市在宅介護者のつどい

うきは市内で在宅介護をされている方が、一日介護から少し離れリフレッシュできる機会として日帰り旅行を令和2年3月に実施予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となりました。

## 7. 連携・協働事業

### (1) うきはブロック介護サービス事業連絡会

うきはブロック介護サービス事業連絡会では、事業所間の情報交換、研修会等に参加し、介護情報の収集、職員の資質向上に努めました。

また、地域福祉活動との連携および介護サービス事業所の周知・啓発の一環として、御幸地区福祉大会にて高齢者見守り声かけ訓練や寸劇を行いました。次年度以降も各地区の要請に応じて、啓発活動を推進していきます。

### (2) 障害者就業・生活支援センターとの連携

障害者就労移行支援事業および就労定着支援事業については、障害者就業・生活支援センター「ぼるて」や障害者就業・生活支援センター「ちくぜん」との連携により、就職希望等についての相談に応じました。また、就労定着支援事業契約者については、本会が直接支援し、未契約や契約対象者期間を過ぎたケースについては、分担して継続的に支援を行いました。

### (3) 福岡障害者職業センターとの連携

就労移行支援事業利用者の就職に向けて、福岡障害者職業センターでの適性検査を活用し、就職に向けた客観的なアドバイスを受け、本人の強みや能力の強化を図りました。

### (4) 地域障害者協議会就労支援部会等への参加

地域障害者協議会就労支援部会では、事業所間の情報交換、研修会等に参加し、職員の資質向上や事業所の支援向上に努めました。

期 日	内 容
R1.9.6	うきは市地域障害者協議会就労支援部会研修「就労準備講座」 施設外就労清掃作業での指導ポイントについて
R2.1.29	うきは市障害者協議会計画相談支援部会 野の花学園視察研修
R2.3.4	「あの方と一緒に楽しく仕事に取り組みたいを実現するための勉強会」事例検討

## IV その他

### 1. 実習・見学受入状況等

#### (1) 視察受入（総務企画課、地域福祉課）

期 日	団体・組織	人数	内 容
R1.5.28	田川市地域包括支援センター	3	生活支援ボランティア養成について うきは市の生活支援体制整備事業について
R1.6.24	武雄市武雄地区社会福祉協議会	36	うきは市の生活支援体制整備事業について 江南地区協議の場の進捗状況と取り組みについて
R1.7.4	久留米市社会福祉協議会	3	不登校・ひきこもり対策相談支援事業について
R1.7.9	東京都健康長寿医療センター研究所	2	うきは市の生活支援体制整備事業に関するヒアリング
R1.7.25	久留米市長門石校区社会福祉協議会	18	うきは市の生活支援体制整備事業について 江南地区協議の場の進捗状況と取り組みについて
R1.8.23	飯塚市庄内校区社会福祉協議会	17	うきは市の小地域福祉活動の取り組みについて うきは市の生活支援体制整備事業について
R1.9.6	佐賀県みやき町	13	江南一九の会の活動について
R1.9.24	宗像市日の里地区福祉会	28	うきは市の小地域福祉活動の取り組みについて うきは市の生活支援体制整備事業について
R1.10.8	連合福岡・筑紫朝倉地域協議員懇談会	6	不登校・ひきこもり対策相談支援事業について
R1.11.14	福津市民生委員・児童委員協議会	86	うきは市の生活支援体制整備事業について
R1.11.15	NPO サークルオーキッド	6	不登校・ひきこもり対策相談支援事業について
R1.11.15	武雄市西川登地区社会福祉協議会	27	うきは市における移動支援や生活支援の取り組みについて
R1.11.26	宮崎県児湯郡社会福祉協議会 福祉活動専門員部会	6	不登校・ひきこもり対策相談支援事業について 子どもの学習・生活支援事業について 子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業について
R1.11.27	飯塚市菰田校区社会福祉協議会	34	おおいし絆クラブの取り組みについて
R1.11.29	公益財団法人さわやか福祉財団	1	おおいし絆クラブの取り組みについて（取材）
R1.12.16	佐賀市久保泉校区社会福祉協議会	25	うきは市の地域福祉活動について 古川町福祉会の活動について
R2.1.10	愛媛県西予市	9	うきは市の生活支援体制整備事業について
R2.1.29	鹿児島県日置市	13	不登校・ひきこもり対策相談支援事業について 生活困窮者自立支援事業について
R2.2.10	筑紫野市	23	うきは市の生活支援体制整備事業について 江南地区協議の場の進捗状況と取り組みについて
R2.2.27	大刀洗町南部コミュニティセンター	13	おおいし絆クラブの取り組みについて
R2.3.17	中間市生活支援コーディネーター	2	うきは市の生活支援体制整備事業について
R2.3.17	長崎県佐世保市 第2層生活支援コーディネーター	4	うきは市の生活支援体制整備事業について
合 計 22 団体 375 名			

#### (2) 社会福祉士相談援助実習（地域福祉課）

※今年度は社会福祉士援助実習受入はありませんでした。

#### (3) 訪問介護事業（うきは市ヘルパーステーション）

※今年度はヘルパー実習受入はありませんでした。

#### (4) 通所介護事業（うきは市デイサービスセンター）

※今年度は介護職員の実習受入はありませんでした。

#### (5) 障害者就労支援事業（ワークサポート白鳥の家）

##### ①実習受け入れ

期 日	対象者	人 数
R1.6.5	東峰学園7年生福祉体験	4名
R1.6.10～6.14	田主丸特別支援学校高等部3年生（就労アセスメント）	1名



R1.6.24～6.28	小郡特別支援学校中等部3年生（就労継続支援B型）	2名
R1.8.19～8.23	日田特別支援学校高等部3年生（就労アセスメント）	1名
R1.10.28～11.1	小郡特別支援学校高等部3年生（就労継続支援B型）	1名
R1.11.5～11.15	小郡特別支援学校高等部2年生（就労継続支援B型）	1名
R1.11.5～11.15	小郡特別支援学校高等部1年生（就労移行支援）	1名
R1.11.18～11.29	小郡特別支援学校高等部3年生（就労アセスメント）	1名
R1.11.28～11.29	田主丸特別支援学校高等部2年生（就労継続支援B型）	1名
R1.12.2～12.13	日田特別支援学校高等部3年生（就労移行支援）	1名
合計	10件	14名

②視察・見学受け入れ

期 日	団体・組織	人 数
H31.4.2	久留米市東国分いきいきサロン	20名
H31.4.9	久留米市北野町金島校区社協高砂会	20名
H31.4.23	八女市社協星野支所	2名
H31.4.23	筑後特別支援学校	2名
R1.5.31	八女市社協星野支所、授産所麻生園	5名
R1.7.8	久留米市北野町金島校区いきいきサロン	11名
R1.7.17	久留米人権擁護委員協議会障がい者人権部会	8名
R1.9.4	久留米市宮の陣いきいきサロン	25名
R1.10.15	プロジェクトT	2名
R1.10.23	御幸小学校5年生	20名
R1.10.24	大刀洗町人権擁護委員会	6名
R1.11.7	かわはらさんち	15名
R1.11.19	久留米市北野町いきいきサロンげんき会	16名
R1.11.19	日田市役所保健福祉部社会福祉課障害者福祉係	2名
R1.11.25	御幸小学校2年生	48名
R1.11.26	山春小学校さくら学級（支援学級）	9名
R2.1.22	久留米市荒木校区まちづくり振興会	11名
合計	18件	222名

2. 講演、事例報告への職員派遣（総務企画課、地域福祉課）

期 日	内 容	派遣職員
R1.5.11	筑後市社会福祉協議会 不登校・ひきこもり家族会サルビアの会 定例会	地域福祉課 権藤
R1.6.5	福岡県生活支援コーディネーター初任者研修（講師）	総務企画課 中川
R1.6.12	久留米大学 社会福祉学科 社会福祉専門職へのキャリアプラン作り 外部講師	地域福祉課 権藤
R1.6.12	浮羽中学校 地域懇談会 全体研修会	地域福祉課 権藤
R1.7.5	久留米大学 社会福祉学科 就労支援論 外部講師	地域福祉課 権藤
R1.7.15	福岡県困窮者支援ネットワークみんなネット 研修会	地域福祉課 権藤
R1.8.5	大牟田市校区社会福祉協議会会長連絡協議会研修会	地域福祉課 権藤
R1.8.21	ありあけ新世高校 定時制課程 職員研修	地域福祉課 権藤
R1.8.29	久留米市虹の会 講演会	地域福祉課 権藤
R1.9.9～9.10	いきがい・助け合いサミット（ポスター展示・説明者）	総務企画課 中川
R1.10.9	福岡県青少年支援に携わる人の研修会	地域福祉課 権藤
R1.10.10	うきは市小教研養護教諭部会 研修会	地域福祉課 権藤
R1.10.16	福岡県生活支援コーディネーター連絡会（うきは市生活支援体制整備事業事例報告）	総務企画課 中川
R1.12.13	九州児童家庭支援センター協議会 冬季研修会	地域福祉課 権藤
R1.12.17	久留米大学 社会福祉学科 公的扶助論 外部講師	地域福祉課 権藤
R2.1.28	福岡県子ども・若者支援地域協議会 代表者会	地域福祉課 権藤
R2.2.25	さわやか福祉財団 ブロック全国協働会議	総務企画課 中川

### 3. 書籍等への掲載

- 全国社会福祉協議会  
社会福祉協議会の強みを活かした 生活困窮者支援 実践事例集
- 久留米大学  
親子の心の診療に関する多職種連携マニュアル
- 公益社団法人 日本社会福祉士会 第27号  
社会福祉士「地域における子どもの貧困対策」～その先にある課題～
- 公益財団法人さわやか福祉財団  
月刊「さあ、言おう」2020年1月号（令和2年1月10日発行）  
広げようつなげよう地域助け合い～活動の現場から～  
地域の声から生まれた有償サービスが住民主体で”ちょっとしたお手伝い”「住民型有償サービスおおいし絆クラブ」

## V 平成31年度（令和元年度）寄付概要

### 1. 香典返し寄付

香典返し寄付金	合計	276件	6,565,000円
---------	----	------	------------

### 2. 一般寄付

一般寄付金	合計	52件	603,285円
-------	----	-----	----------

### 3. 物品寄付

物品寄付	合計	2件	117,285円
------	----	----	----------

## 平成31年度（令和元年度）事業報告 附属明細書

社会福祉法人うきは市社会福祉協議会

平成31年度（令和元年度）事業報告には、事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、定款第40条第2号に規定する事業報告の附属明細書は作成しない。

以上